I-O DATA

1394US2G-PCI

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

144811-01

箱の中には

箱の中のものを確認します。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

箱・梱包材は

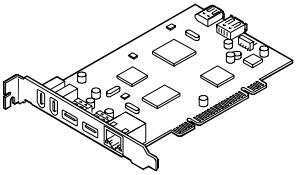
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

□ **本製品（１枚）**

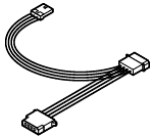
[1394US2G-PCI]



□ **1394US2G-PCI サポートソフト（１枚）**

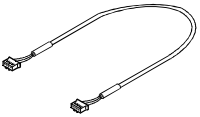


□ **電源供給ケーブル（１本）**



バスパワー対応
1394 機器用

□ **Wake On LAN ケーブル**



※Wake On LAN については
サポート対象外となります。

☑ **1394US2G-PCI 取扱説明書（本書：１冊）**

□ **ハードウェア保証書（１枚）**

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている 12 桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）

シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

もくじ

もくじ i
必ずお守りください ii
呼び方やマーク vi

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

動作環境 2
接続する機器について 4
各部の名称・機能 6
最新の Service Pack をダウンロードする 9
パソコンに取り付ける １２
お使いの OS は？ １５

Windows XP でお使いの場合・・・・・・・・・・・・・・１７

使えるようにしよう １８
USB 機器を接続しよう ３１
1394 機器を接続しよう ３３
ネットワークに接続しよう ３５

Windows 2000 でお使いの場合・・・・・・・・・・・・・４３

使えるようにしよう ４４
USB 機器を接続しよう ５７
1394 機器を接続しよう ５９
ネットワークに接続しよう ６１

ふろく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６９

困ったときには ７０
本製品を使った Service Pack のダウンロード ８１
サポートソフトの削除 ８９
USB について ９１
1394 機器を２台以上接続する場合 ９３
Wake On LAN とは？ ９７
用語解説 ９８
ハードウェア仕様 １０１

お問い合わせ １０２
修理について １０３

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。

火災・感電・動作不良の原因となります。

修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品やケーブルを取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因となります。
- 給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。
  給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。
- 指定されたスロットに水平（垂直の場合もあります）に入れ、奥のコネクタまできちんと差し込んでください。
  正しく装着されていないと火災および故障の原因となります。


厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は必ず本書に従って、取り付け、取り外しを行ってください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

⚠ 注意


厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。
また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。


注意

本製品には裏面にハンダ付けの跡があり、とがっています。

誤って手などをけがしないように、取り付け・取り外しの際は本製品の両端を持ってください。


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。


禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。


注意

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

呼び方やマーク

本書では、以下の呼び方やマークを使用しています。

● 呼び方

呼び方	意　味
USB 1.1 ポート	USB 1.1 に対応した USB ポート
USB 2.0 ポート	USB 2.0 に対応した USB ポート
USB ポート	USB 1.1 ポート,USB 2.0 ポートの総称
USB 1.1 機器	USB 1.1 に対応した USB 機器
USB 2.0 機器	USB 2.0 に対応した USB 機器
USB 機器	USB 1.1 機器,USB 2.0 機器の総称
1394	IEEE 1394-1995 および IEEE 1394a-2000 の略称
i.LINK	IEEE 1394-1995 仕様およびその拡張仕様の名称として SONY が提唱している呼称
1394 機器	1394 および i.LINK に対応した機器
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System, Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows XP/2000	Windows XP,Windows 2000 の総称
Windows	Windows XP,Windows 2000 の総称
サポートソフト	1394US2G-PCI サポートソフトウェア

● マークの説明



注意
本製品を使う上で注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で役に立つことが書かれています。



参照
参照していただきたいページが書かれています。

はじめに

動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

2ページ

▼

接続する機器について

本製品に接続する機器について説明します。

4ページ

▼

各部の名称・機能

コネクタの名前と機能を説明します。

6ページ

▼

最新の Service Pack をダウンロードする

最新のServie Packのダウンロードについて説明します。

9ページ

▼

取り付けよう

本製品を取り付ける手順について説明します。

12ページ

▼

お使いの OS は？

お使いのOSに合ったページを案内します。

15ページ

動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

●対応機種および対応 OS

機種	ＯＳ（日本語版のみ）
PCI 2.1以上搭載の下記の機種※1※2※3 ・PC98-NXシリーズ※4 ・DOS/Vマシン※5※6	Windows XP※7 Windows 2000※7

※1 PCI 2.1 以降に対応した PCI バススロットに空きがある必要があります。
※2 NEC PC-9821 シリーズでは、ご使用いただけません。
※3 SiS530 チップセット搭載パソコンを除きます。
※4 Fine NX を除きます。
※5 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認をしています。
※6 以下の機種を除きます。
富士通社製　FMV DESKPOWER SE (FMV-5133DPS)、SP(FMV-5150DPS)
HP/Compaq 社製　99 年秋冬モデル Presario 3566/3567/3576/3581/3590
2000 年春モデル Presario 3560/3562/3570/3580
EPSON 社製 EDiCube TC535MN、TC535MR、TC535MRN、TC535LN、TC535LR、TC535LRN
※7 Windows XP の場合は「Service Pack 1」、Windows 2000 の場合は「Service Pack 4」以上でお使いになることをおすすめします。（これらの場合のみ、マイクロソフト社製 USB 2.0 ドライバをお使いいただけます。入手できない場合は、同梱の弊社製サポートソフトウェア内の弊社製 USB 2.0 ドライバ※をお使いください。）

＊弊社製サポートソフトウェア内にも USB 2.0 ドライバを添付していますが、弊社製 USB 2.0 ドライバを使用した場合、以下の制限があります。
1. ストレージデバイス以外のカメラやビデオキャプチャ（弊社製キャプチャ製品 GV-M2TV/USB2 および GV-MPEG2/USB2）等のアイソクロナス転送の場合は、USB 1.1 として動作します。
2. USB 2.0 ハブを接続した場合も USB 1.1 として動作します。

注意

・本製品を同時に複数枚取り付けることはできません。
複数枚取り付けた場合の使用については、動作保証いたしかねます。
・パソコンのスタンバイ・休止状態などの省電力機能を使わないでください。
本製品は、ACPI機能には対応しておりません。（次ページ参照）

●スタンバイモードでの制限事項

本ボードは、パソコン（Windows）のスタンバイモードおよび休止状態には対応しておりません。

Windows のスタンバイモードは使用しないでください。

※以下の個所を参照して設定を無効にしてください。

・Windows XP　→ 30 ページ

・Windows 2000　→ 56 ページ

また、[スタート]ボタン→［終了オプション］（Windows 2000 では[シャットダウン]）での「スタンバイ」は実行しないでください。

パソコン本体およびキーボード上のスタンバイ機能のスイッチ(ボタン)も使用しないでください。

接続する機器について

本製品に機器を接続する場合、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、または Windows の正常動作の妨げとなります。
必ず、機器に付属の取扱説明書、および、以下の注意事項をお読みください。

●接続できる機器に関して

以下の機器を接続できます。

- USB 機器　※本製品は、USB 2.0/1.1 どちらの機器にも対応しています。
- 1394 機器（DV 機器含む）

注意

- 弊社製 USB 2.0 ドライバをお使いの場合で、USB 機器のストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）では、USB 1.1 として動作します。
- USB 2.0 対応のハブを USB 2.0 のハブとして使用するには、Windows XP/2000 で Microsoft 社製の USB 2.0 ドライバソフトを使用する必要があります。
  Windows XP/2000 で弊社製ドライバソフトを使用した場合は、USB 1.1 のハブとして動作し、また、接続した USB 機器も USB 1.1 機器として動作します。
- パソコン本体の性能（CPU速度、ハードディスクの転送速度、グラフィックボード、その他使用状況など）によっては、接続したDV機器からの映像のキャプチャやDV機器への書き戻しの際、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。
- DV機器を使用する場合は、DV機器を操作するアプリケーションソフトの動作環境もご確認ください。
  ※本製品には、DV機器を操作するアプリケーションは添付しておりません。
- D-VHS、CSチューナーなどには対応しておりません。

・本製品に USB キーボードを接続する場合

一般に、USB 機器は Windows が起動した後で使えるようになります。
そのため、USB キーボードは Windows 起動前は使えません。
ただし、本製品を使えるようにする作業にはお使いいただけます。

USBキーボードで使えない機能例

- パソコンのBIOS設定
- 接続している周辺機器のBIOS設定
- Windowsのセーフモード
- OS をインストール中の操作

●機器の接続、取り外しおよび使用方法について

本製品に接続する接続機器の接続、取り外しおよび使用方法については、接続機器の取扱説明書を参照してください。



・接続機器は、電源を入れてから本製品に接続してください。
接続機器の電源を切った状態で本製品に接続すると、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
・接続機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の接続機器を接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
また、1394 機器の動作中に他の接続機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※接続機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから接続機器の電源を入れ直し、接続機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各接続機器の取扱説明書もご覧ください。
※アプリケーションなどから接続機器が認識されない場合は、Windows を再起動してお試しください。

●接続できるネットワークについて

本製品は1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに対応しているLANポートを搭載しています。
1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T に対応しているルータやハブと接続できます。

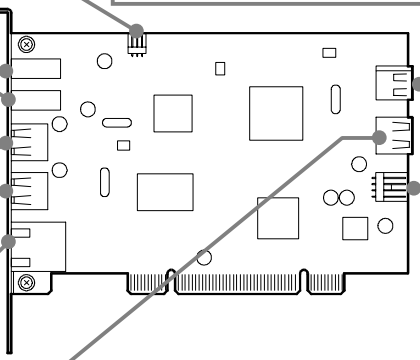


本製品にLANケーブルは添付しておりません。
LANケーブルは以下をご用意ください。
・*1000BASE-Tでご利用になる場合*
→ 非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５e以上のケーブル
・*100BASE-TXでご利用になる場合*
→ 非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５以上のケーブル
・*10BASE-Tでご利用になる場合*
→ カテゴリー３，４または５以上のケーブル

各部の名称・機能

コネクタの名前と機能を説明します。

●上面



Wake On LAN コネクタ
添付の Wake On LAN ケーブルを使って Wake On LAN（WOL）機能を使用できます。
（WOL とは LAN 経由でパソコンの電源を ON にする機能です。）
※WOL についてはサポート対象外です。

内部 1394 ポート（6 ピンタイプ）
内部 1394 機器を接続します。
弊社製別売オプション「GV-FRONT」の 1394 コネクタと接続すれば、GV-FRONT の 1394 コネクタが有効になります。
（13 ページ参照）
※ 別途 1394 ケーブルが必要です。

外部 1394 ポート
（6 ピンタイプ）
外部 1394 機器を接続します。
別途 1394 ケーブルが必要です。

外部 USB ポート
外部 USB 機器を接続します。
別途 USB ケーブルが必要です。

LAN ポート
LAN ケーブルでネットワークに接続します。
別途 LAN ケーブルが必要です。

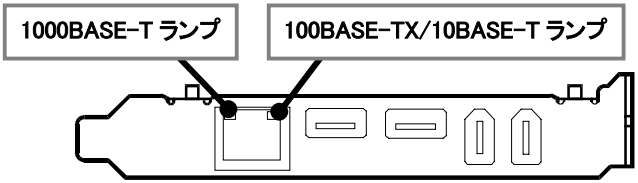
内部 USB ポート
内部 USB 機器を接続します。
弊社製別売オプション「GV-FRONT」の USB コネクタと接続すれば、GV-FRONT の USB コネクタが有効になります。
（13 ページ参照）
※ 別途 USB 2.0 ケーブル A プラグ・B プラグ）が必要です。

内部電源入力端子（次ページ参照）
※バスパワー対応 1394 機器用
添付の電源供給ケーブルにより、パソコン本体の電源と接続し、1394 機器に電源供給を行います。バスパワーでご使用の場合は、必ず電源供給ケーブルを接続してください。
電源供給ケーブルを接続せずに使用した場合、パソコンを破損する恐れがあります。（次ページの注意も参照してください。）

注意

・接続ケーブルについて
本製品には、USB、1394およびLANケーブルは添付しておりません。
別途ご用意ください。

●LAN コネクタの LED

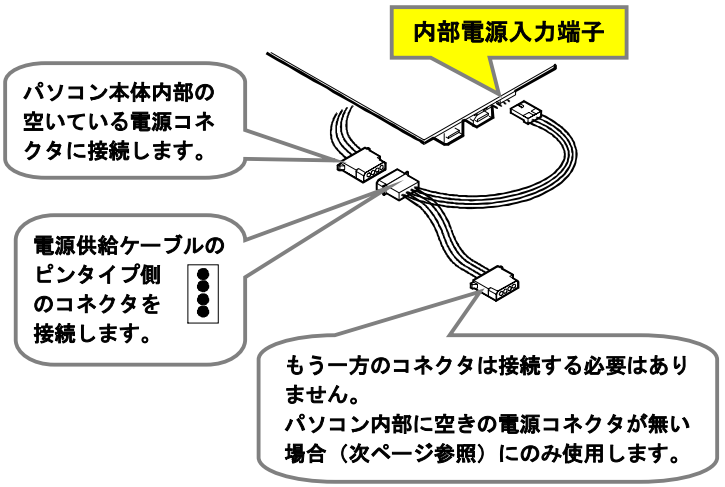


ランプ	色	状態
1000BASE-T	オレンジ	点灯:1000BASE-T ネットワークに接続時 点滅:1000BASE-T ネットワークでデータ送受信時
100BASE-TX	赤	点灯:100BASE-TX ネットワークに接続時 点滅:100BASE-TX ネットワークでデータ送受信時
10BASE-T	緑	点灯:10BASE-T ネットワークに接続時 点滅:10BASE-T ネットワークでデータ送受信時

●バスパワー対応 1394 機器をご利用になる場合

注意

添付の電源供給ケーブルにより、パソコン本体の電源と接続し、1394機器に電源供給を行います。バスパワーでご使用の場合は、必ず電源供給ケーブルを接続してください。
電源供給ケーブルを接続せずに使用した場合、パソコンを破損する恐れがあります。



参考

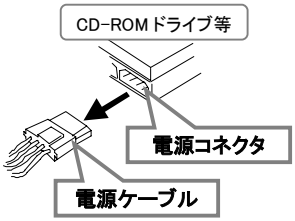
・パソコン本体内部に電源ケーブルの空きが無い場合

ハードディスク以外（CD-ROMドライブ等）に接続している電源コネクタから分岐させてください。

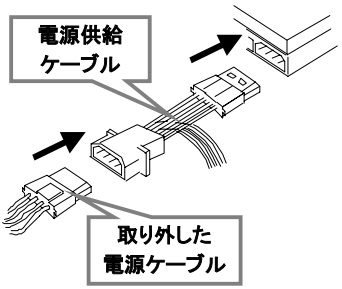
※ハードディスクからは分岐させないでください。

ただし、電源供給ケーブルと接続可能な電源ケーブルがハードディスク以外に無い場合は、ハードディスクより分岐させてください。

①電源ケーブルを抜きます。



② 抜いた電源ケーブルを電源供給ケーブルに接続し、電源供給ケーブルのもう一方を CD-ROM ドライブ等に接続します。



最新の Service Pack をダウンロードする

本製品をお使いになる場合は、Windows の最新の Service Pack（サービスパック）でお使いになることをおすすめします。
最新の Service Pack で無い場合は、本製品を取り付ける前に以下の手順で、パソコンに最新の Service Pack をダウンロードしてください。

・インターネットに接続できる場合　→ 以下へ
・インターネットに接続できない場合　→ 12 ページへ

注意

・本製品をパソコンに取り付ける前に行ってください
※本製品のインストール作業（17ページ以降）が終了するまでは本製品（本製品でのLAN、USB、1394）は使用できません。
・インターネットに接続できる必要があります
※インターネットへの接続は、本製品以外の製品を使って（LAN経由あるいはダイヤルアップモデム経由など）で行ってください。

参考

・最新のService Packについて　※2003年10月現在

・Windows XPの場合	Service Pack 1
・Windows 2000の場合	Service Pack 4

最新の Service Pack をダウンロードする

インターネットに接続できる場合は、以下の手順で最新の「Service Pack」をダウンロードしてインストールしてください。

1 Windowsを起動します。

コンピュータの管理者アカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。

注意

「コンピュータの管理者」（Administratorsグループ）のアカウントでログオンしてください
「コンピュータの管理者」（Administratorsグループ）以外のユーザーでログオンしている場合は、以下の手順でアカウントの変更を行ってください。
⇒①［スタート］→［ログオフ］を順にクリックします。
（Windows 2000の場合は［スタート］→［シャットダウン］→［xxxのログオフ］）　xxxはログオンしているユーザー名
②［ユーザーの切り替え］をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。
（Windows 2000の場合は［ユーザー名］にAdministratorsグループのユーザー名を入力します。）

どのアカウントが「コンピュータの管理者」（Administratorsグループ）かわからない場合

⇒①［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］を順にクリックします。

②［ユーザーアカウント］（Windows 2000の場合は［ユーザーとパスワード］）をダブルクリックします。

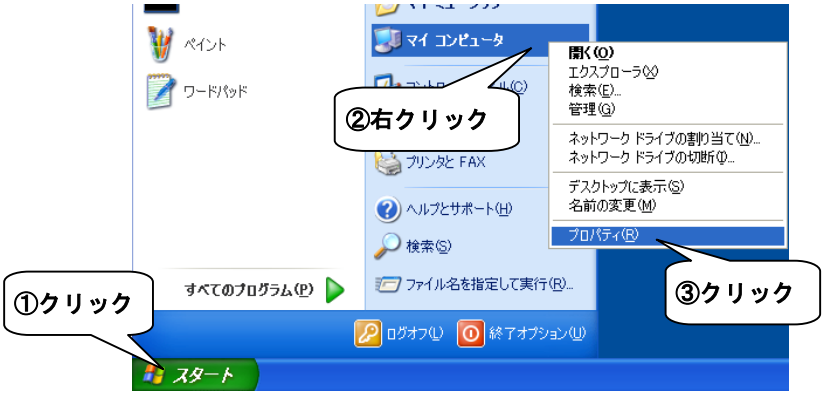
③［変更するアカウントを選びます］欄で、「コンピュータの管理者」と書いてあるアカウントが「コンピュータの管理者」です。

（Windows 2000の場合は、［グループ］欄に［Administrators］と書いてあるアカウントが「Administratorsグループ」です。）

2 ［システムのプロパティ］画面を開きます。

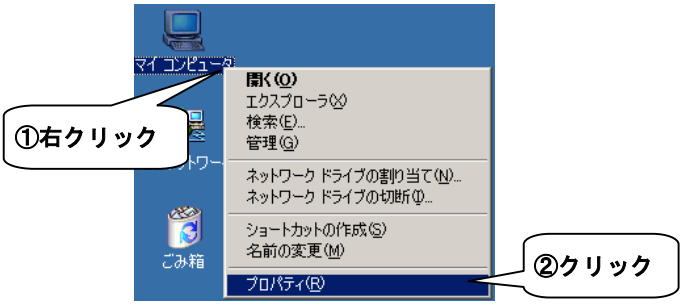
・Windows XPの場合

Windows XPの場合は、［スタート］をクリック後、［マイコンピュータ］を右クリックし、表示される［プロパティ］をクリックします。



・Windows 2000の場合

［マイコンピュータ］を右クリックし、表示される［プロパティ］をクリックします。



3 最新のService Packがインストールされているか確認します。

［全般］タブで、最新の「Service Pack」であるか確認します。

最新の Service Pack がインストールされていない場合はインストールします。手順4へお進みください。

インストールされている場合は手順5へ進んでください。

・Windows XPの場合

最新は、Service Pack 1です。

「Service Pack 1」と表示されていない場合はインストールしてください。



・Windows 2000の場合

最新は、Service Pack 4です。

「Service Pack 4」と表示されていない場合はインストールしてください。



4 最新のService Packをダウンロードします。

マイクロソフト社の「Windows Update」からダウンロードします。

URL　http://windowsupdate.microsoft.com/

画面の指示に従ってインストールしてください。

5 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

以上で最新の Service Pack のダウンロードは終了です。
次ページへ進んでください。

パソコンに取り付ける

本製品を取り付ける手順について説明します。

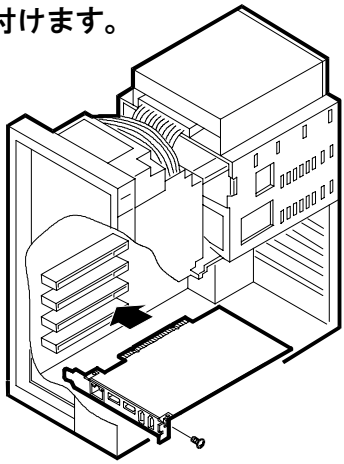
1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **パソコンに接続されているケーブルを全て取り外します。**

3 **パソコンのカバーを取り外します。**
パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 **パソコンの PCI バススロットのカバーを取り外します。**
PCI バススロットカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

5 **本製品を PCI バススロットに取り付けます。**
①本製品を PCI バススロットに
取り付けます。
②本製品が固定されるように、
ネジでとめます。
ネジはパソコンに付属のものを
お使いください。



6 **バスパワー対応1394機器を本製品に接続する場合は、7､8ページを参考にして電源供給ケーブルを取り付けます。**

7 **パソコンのカバーを取り付けます。**
手順**3**と逆の手順でパソコンのカバーを取り付けます。

8 **取り外したケーブルを全て接続します。**

取り付けは終わりました。
15 ページにて、お使いの OS に合った章をご覧ください。

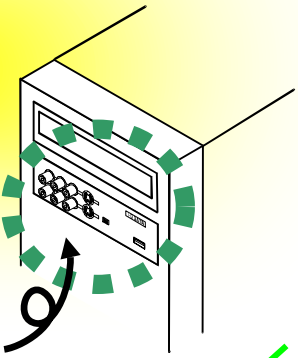
参考：弊社製 GV-FRONT（別売）と接続する場合

弊社製 GV-FRONT をすでにお使いの場合は、本製品を接続してご使用いただくことができます。別途「USB 2.0 ケーブル（A プラグ・B プラグ）」または「1394 ケーブル」をお求めください。
GV-FRONT のお取り扱いについては、「GV-FRONT 取扱説明書」をご覧ください。

GV-FRONT があれば

弊社ビデオキャプチャボード製品や本製品をパソコンに取り付けると、接続コネクタ（ポート）がパソコン背面になります。機器を何度も抜き差しする場合、接続コネクタがパソコン背面にあると、とても面倒なものです。
本製品のように GV-FRONT と内部接続できるボードであれば、GV-FRONT と接続し、パソコン前面で簡単にケーブルの抜き差しができるようになります。

※ GV-FRONT の USB および 1394 コネクタは、本製品と接続することにより、使用可能になります。



パソコン前面でらくらく接続！

GV-FRONT と本製品は、パソコン内部で USB ケーブルおよび 1394 ケーブルを使って接続します。
以下の手順にしたがって接続してください。

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **パソコンに接続されているケーブルを全て取り外します。**

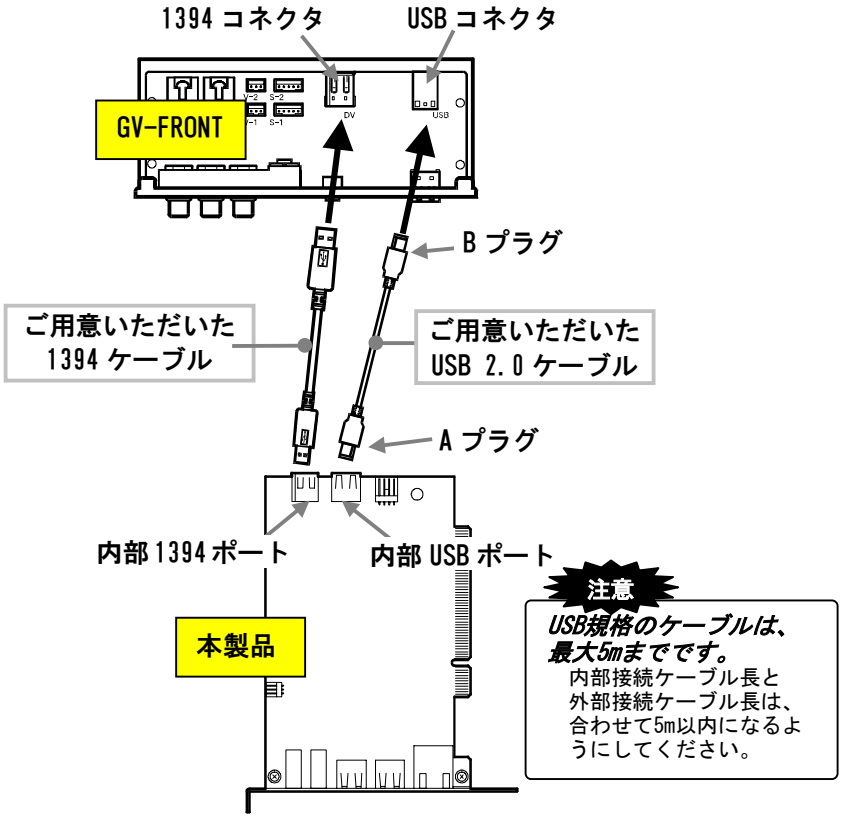
3 **パソコンのカバーを取り外します。**
パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 ***・内蔵USB機器をお使いになる場合***

USB 2.0ケーブルで、GV-FRONTの「USBコネクタ」と
本製品の「内部USBポート」を接続します。

・内蔵1394機器をお使いになる場合

1394ケーブルで、GV-FRONTの「1394コネクタ」と
本製品の「内部1394ポート」を接続します。



5 **パソコンのカバーを取り付けます。**

手順**3**と逆の手順でパソコンのカバーを取り付けます。

6 **取り外したケーブルを全て接続します。**

お使いの OS は？

ここからは、お使いの OS によってお読みいただく章が異なります。
お使いの OS に合った章をご覧ください。

・Windows XP
【Windows XPでお使いの場合】 ・・・・・・・・ １７

・Windows 2000
【Windows 2000でお使いの場合】 ・・・・・・ ４３

MEMO

Windows XP でお使いの場合

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
18 ページ

▼

USB 機器を接続しよう

本製品に USB 機器を接続します。
31 ページ

▼

1394 機器を接続しよう

本製品に 1394 機器を接続します。
33 ページ

▼

ネットワークに接続しよう

ネットワークに接続します。
35 ページ

使えるようにしよう

本製品を使えるようにする設定について説明します。
ご利用の環境により、以下の必要な個所をご覧ください。

手順	
Windows XP Service Pack 1 の場合 *※Windows XP Service Pack1 のインストール手順については 9 ページを参照してください。*	次ページ
Windows XP Service Pack 1 でない場合	23 ページ

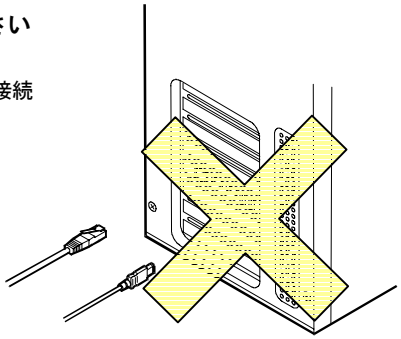
注意

本製品を取り付けてください

取り付けていない場合は、【パソコンに取り付ける】(12ページ)をご覧ください。

ケーブルを接続しないでください

本手順が終わるまで、本製品にUSB、1394およびLANケーブルは接続しないでください。



注意

本製品のインストール作業（次ページ以降）が終了するまでは本製品（本製品でのLAN、USB、1394）は使用できません。
本製品を使ってWindows XP Service Pack 1をダウンロードしたい場合は、23ページ以降のインストール作業が終了した後にダウンロードしてください。

Windows XP Service Pack 1の場合

Windows XP Service Pack 1でお使いの場合は、以下の手順を行います。

注意

以下の手順は、「Windows XP Service Pack 1」をインストールしている場合（9ページ参照）の手順です。
インストールしていない場合は23ページの手順を行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

注意

「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

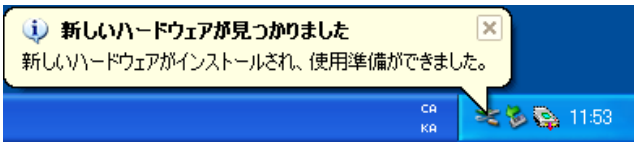
「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、
以下の手順でアカウントの変更を行ってください。
⇒①［スタート］→［ログオフ］を順にクリックします。
②［ユーザーの切り替え］をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

どのアカウントが「コンピュータの管理者」かわからない場合

⇒①［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
②［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
③［変更するアカウントを選びます］欄で、「コンピュータの管理者」と書いてあるアカウントが「コンピュータの管理者」です。

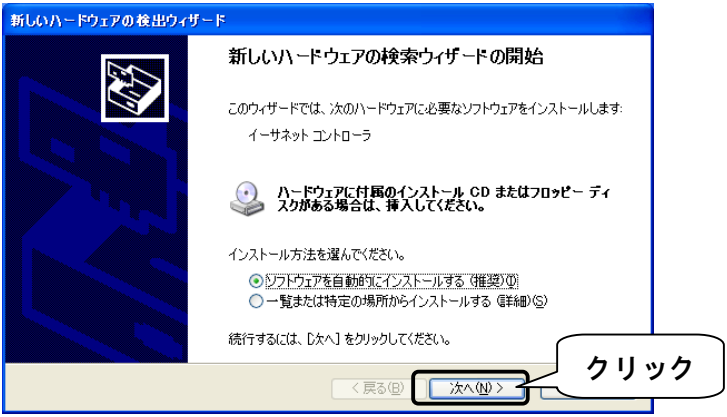
2 しばらくすると、Windows画面右下に下のような画面が表示されます。消えるまでお待ちください。

Windows XPが自動的にインストールしている画面です。
しばらくすると自動的に消えますので、消えるまで（手順3の画面が表示されるまで）お待ちください。



3 **以下の画面が表示されます。**
「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
挿入後、画面の［次へ］ボタンをクリックします。


「サポートソフト」CD-ROM



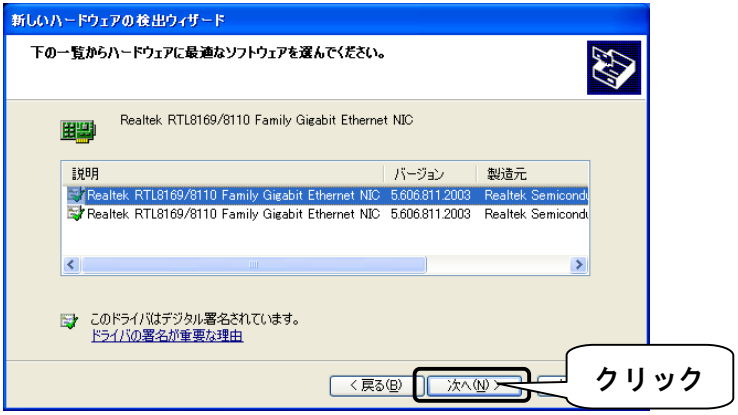
参照

このインストール画面が表示されない場合は
⇒72ページをご覧ください。

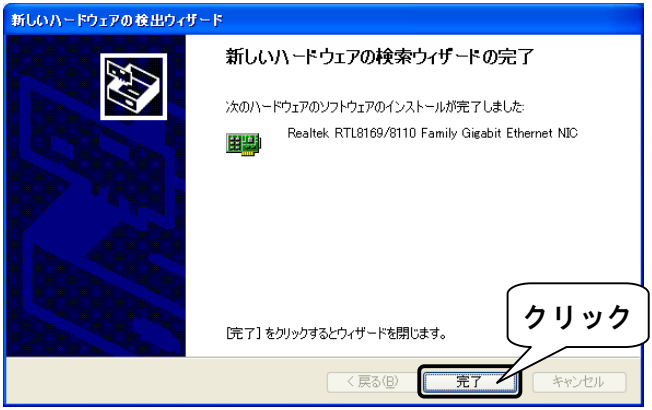
参考

サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は
①上記画面で［一覧または特定の場所からインストールする］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。
②次に表示される画面で、［次の場所で最適のドライバを検索する］[次の場所を含める]にチェックして、[参照]ボタンをクリックします。
③[ファイルの場所]画面で、ダウンロードした場所を指定して[OK]ボタンをクリックします。
④再び②の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

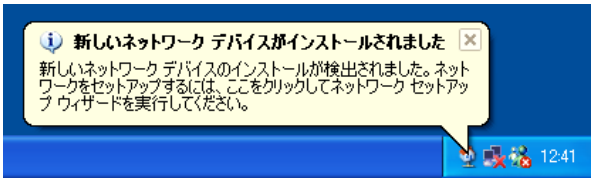
4 ［次へ］ボタンをクリックします。

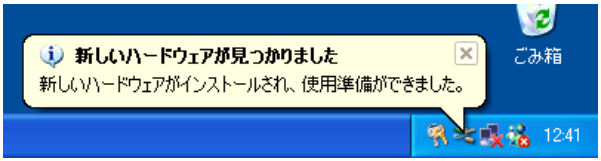


5 ［完了］ボタンをクリックします。



6 **しばらくすると、Windows画面右下に下のような画面が表示されます。**
消えるまでお待ちください。





7 **「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。**

以上でインストールは完了しました。
28 ページで正常にインストールされたことをご確認ください。

Windows XP Service Pack 1 でない場合

本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

●本製品を使えるようにする

1 パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

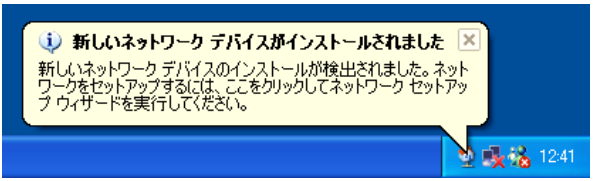
「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、
以下の手順でアカウントの変更を行ってください。
⇒①［スタート］→［ログオフ］を順にクリックします。
②［ユーザーの切り替え］をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

どのアカウントが「コンピュータの管理者」かわからない場合

⇒①［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
②［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
③［変更するアカウントを選びます］欄で、「コンピュータの管理者」と書いてあるアカウントが「コンピュータの管理者」です。

2 しばらくすると、Windows画面右下に下のような画面が表示されます。
消えるまでお待ちください。

Windows XPが自動的にインストールしている画面です。
しばらくすると自動的に消えますので、消えるまで（手順3の画面が表示されるまで）お待ちください。

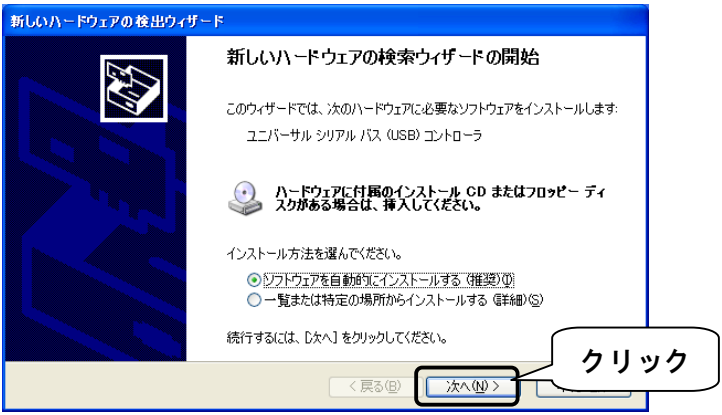


3 **以下の画面が表示されます。**
「サポートソフト」CD-ROMを
CD-ROMドライブに挿入します。



「サポートソフト」CD-ROM

挿入後、画面の［次へ］ボタンをクリックします。



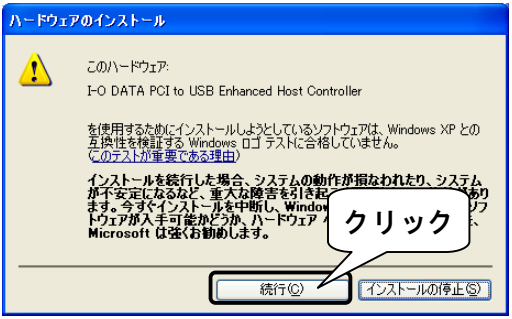
参照

このインストール画面が表示されない場合は
⇒72ページをご覧ください。

参考

サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は
①上記画面で［一覧または特定の場所からインストールする］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。
②次に表示される画面で、[次の場所で最適のドライバを検索する][次の場所を含める]にチェックして、[参照]ボタンをクリックします。
③[ファイルの場所]画面で、ダウンロードした場所を指定して[OK]ボタンをクリックします。
④再び②の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

4 ［続行］ボタンをクリックします。



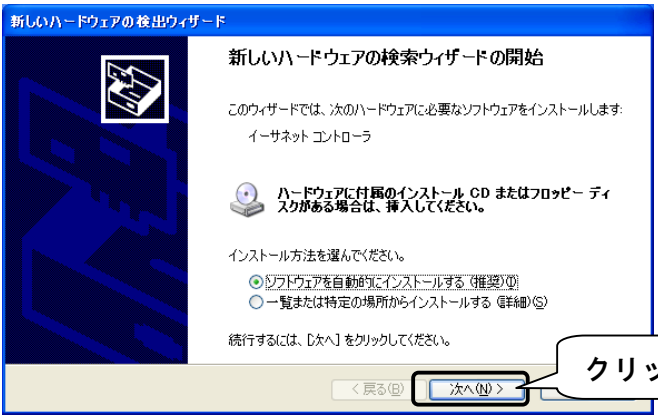
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQLという組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

5 ［完了］ボタンをクリックします。



6 しばらくすると、以下の画面が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。



サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は

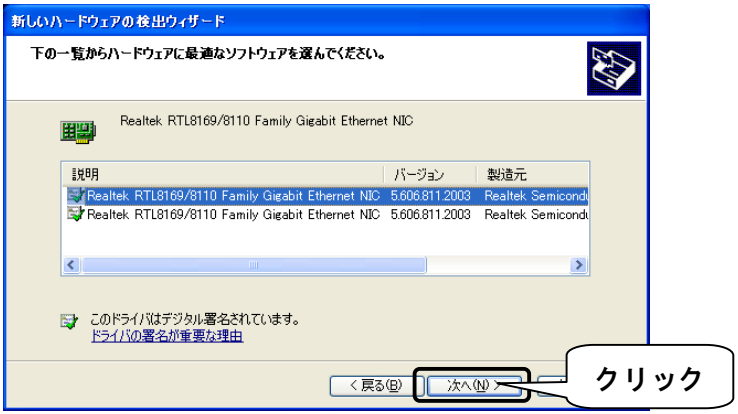
①上記画面で［一覧または特定の場所からインストールする］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

②次に表示される画面で、[次の場所で最適のドライバを検索する][次の場所を含める]にチェックして、[参照]ボタンをクリックします。

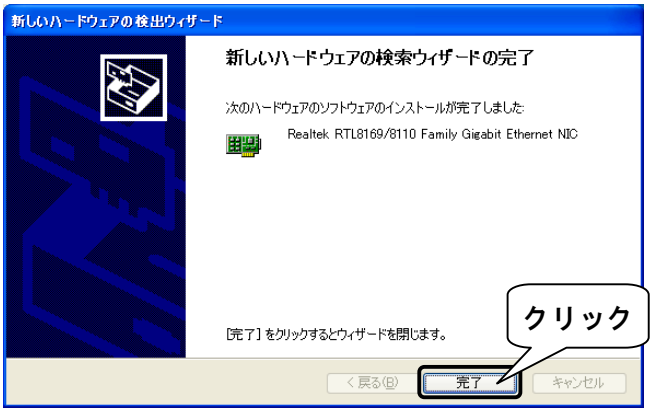
③[ファイルの場所]画面で、ダウンロードした場所を指定して[OK]ボタンをクリックします。

④再び②の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

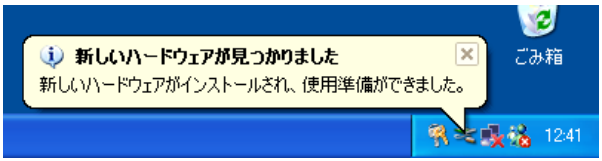
7 ［次へ］ボタンをクリックします。

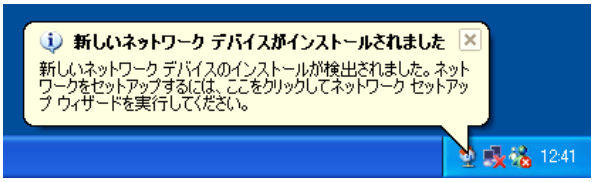


8 ［完了］ボタンをクリックします。



9 しばらくすると、Windows画面右下に下のような画面が表示されます。
消えるまでお待ちください。





10 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

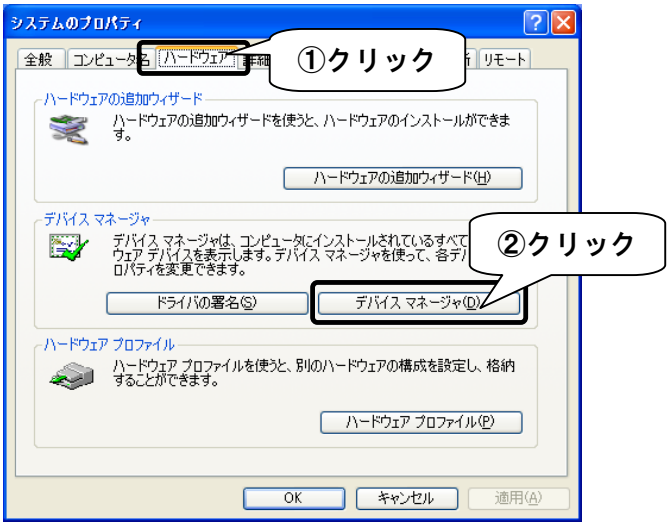
以上でインストールは完了しました。
次ページで正常にインストールされたことをご確認ください。

●確認する

1 ［スタート］をクリックし、［マイコンピュータ］を右クリックして表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

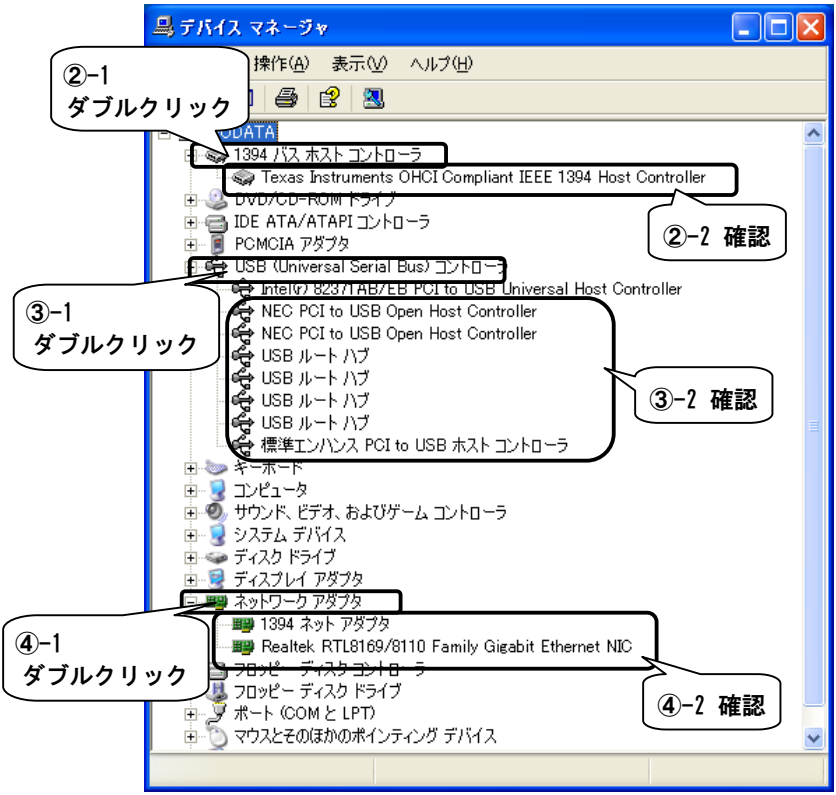


2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



3 本製品が認識されていることを確認します。

①［表示］をクリックし、［デバイス（種類別）］を選択します。
②［1394 バス ホスト コントローラ］をダブルクリックして、
以下を確認します。
・［Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］
③［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックして、
以下を確認します。
・［NEC PCI to USB Open Host Controller］が２つ
・［標準エンハンス PCI to USB ホストコントローラ）］※
※弊社製ドライバを使用した場合は［I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller］）
④［ネットワーク アダプタ］をダブルクリックして、 以下を確認します。
・［1394 ネットアダプタ］
・［Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC］



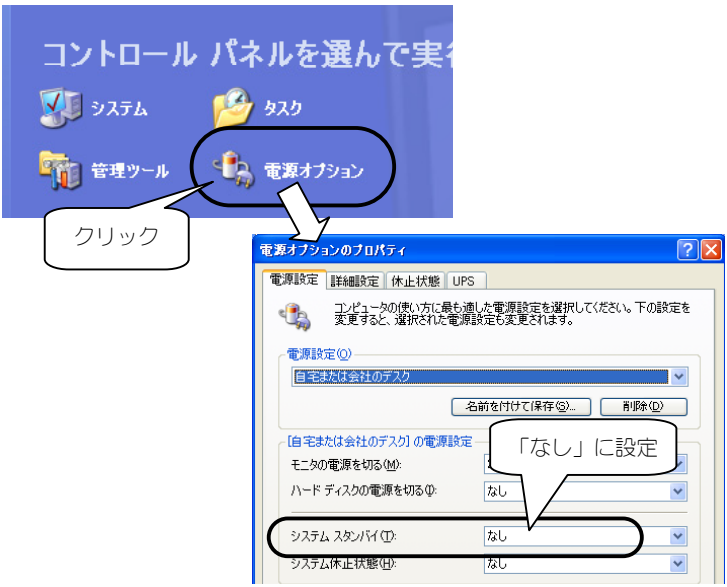
以上で、本製品を使えるように設定できました。

●機器を接続する前に

本ボードは、Windows XPのACPI機能には対応しておりません。
従って、本ボードを取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. ［スタート］→［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］を順にクリックします。
2. ［電源オプション］をクリックし、［電源設定］タブの［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。
（［システムスタンバイ］の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定の必要はありません。）



・［スタート］→［終了オプション］→［スタンバイ］は実行しないでください。

参考

ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

USB 機器を接続しよう

ここでは、本製品に USB 機器を接続する方法について説明します。



パケットライティングソフトウェア「B's CLiP」（株式会社ビー・エイチ・エー社製）を使用して以下の作業を行っている間は、本製品にUSB機器の接続および取り外しを行わないでください。
・ディスクからのファイルの読み出し
・ディスクへのファイルの書き込み

●USB 機器を接続する前に

USB 機器を接続する前に、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

●USB 機器を接続する

USB 機器の接続については、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

※USB 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。



USB 機器の内、ストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）を USB 2.0 機器として使用するには、および、USB 2.0 対応のハブを USB 2.0 のハブとして使用するには、Windows XP で Microsoft 社製の USB 2.0 対応ドライバソフトを使用する必要があります。（Windows XP Service Pack 1 以降に収録されています。）
弊社製ドライバソフトを使用した場合は、USB 1.1 の機器およびハブとして動作し、また、ハブに接続した USB 機器も USB 1.1 機器として動作します。

●USB 機器を取り外す

USB 機器の取り外しについては、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

※次ページ「参考」は取り外し方法の一例です。

参考

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された USB 機器を取り外す場合

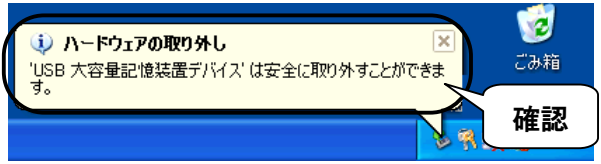
①Windows画面右下のリムーバブルツール  をクリックします。



②表示された画面内の「‥‥ドライブ(x:)を安全に取り外します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続したUSB機器により異なります。



③「ハードウェアの取り外し」の吹き出しが表示されますので、接続したUSB機器を本製品のUSBポートから取り外します。
⇒表示される製品名は、接続したUSB機器により異なります。



④USB 機器の電源を切ります。

1394 機器を接続しよう

ここでは、本製品に1394機器を接続する方法について説明します。

●1394 機器を接続する前に

1394 機器を接続する前に、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

●1394 機器を接続する

1394 機器の接続については、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

※1394 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

●1394 機器を取り外す

1394 機器の取り外しについては、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

※次ページ「参考」は取り外し方法の一例です。

注意

- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
- DV 機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- DV 機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- DV 機器を含む複数の 1394 機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

参考

DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

参考

<u>パソコンの電源を入れたまま</u>本製品に接続された 1394 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール  をクリックします。



②表示された画面内の「‥‥ドライブ(x:)を安全に取り外します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続した1394機器により異なります。



③「ハードウェアの取り外し」の吹き出しが表示されますので、接続した1394機器を本製品の1394ポートから取り外します。
⇒表示される製品名は、接続した1394機器により異なります。

④1394 機器の電源を切ります。

ネットワークに接続しよう

本製品にLANケーブルを接続してネットワークに接続できます。

1 LANケーブルで、本製品の［LANポート］とルータやハブなどのネットワーク機器を接続します。

LANケーブルは、以下のケーブルをお使いください。

・*1000BASE-Tでご利用になる場合*

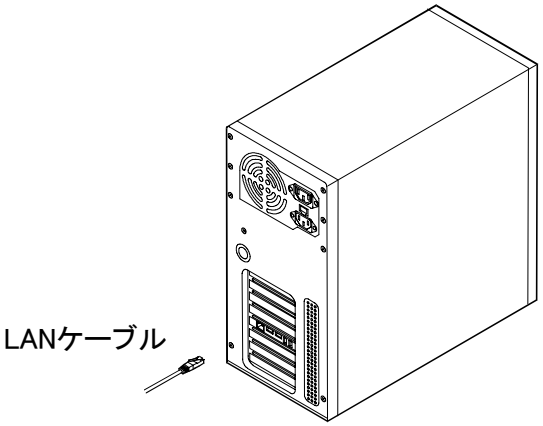
→ 非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５e以上のケーブル

・*100BASE-TXでご利用になる場合*

→ 非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５以上のケーブル

・*10BASE-Tでご利用になる場合*

→ カテゴリー３，４または５のケーブル



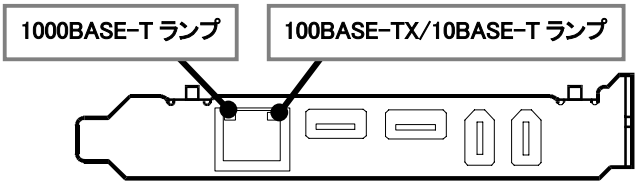
注意

本製品と **ISDN 機器（S/T 点）** を LAN ケーブル（RJ-45）で接続しないでください。
故障や発火の原因となります。

2 接続したネットワーク機器で接続状態を確認します。

本製品の［LINK］［Action］ランプ、また、接続したネットワーク機器の［LNK］ランプなどで正常に接続されていることをご確認ください。
（詳細はネットワーク機器の取扱説明書を参照してください。）

《本製品のランプ》



ランプ	色	状態
1000BASE-T	オレンジ	点灯:1000BASE-T ネットワークに接続時 点滅:1000BASE-T ネットワークでデータ送受信時
100BASE-TX	赤	点灯:100BASE-TX ネットワークに接続時 点滅:100BASE-TX ネットワークでデータ送受信時
10BASE-T	緑	点灯:10BASE-T ネットワークに接続時 点滅:10BASE-T ネットワークでデータ送受信時

ネットワーク活用例（ファイル共有の設定例）

ここでは、ネットワークの活用例として、ネットワーク内で互いのパソコンのファイルを共有するときの設定例を説明します。

注意

設定するプロトコルについて
本書では、設定するプロトコルとして［TCP/IP］についてのみ説明しています。他のプロトコルについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

サポートについて
弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

IP アドレスを確認する

ネットワーク上のすべてのパソコンには別々の IP アドレスが必要です。
ここでは、お使いのパソコンに設定する IP アドレスを確認します。

●確認した IP アドレスを記入してください

参考

ネットワーク管理者にIPアドレスをご確認ください。
確認したIPアドレスを下に書き込んでください。

▼確認した(決めた)IPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

参考

ネットワーク内にDHCPサーバがある場合
弊社製NP-BBRSなどをDHCPサーバとしてご利用になっている場合は、各パソコンでIPアドレスを自動取得でご利用いただけます。
その場合は上記のIPアドレスを記入する必要はありません。次ページ以降の手順でIPアドレスを自動取得に設定してください。

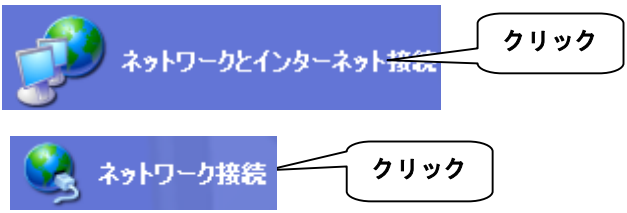
IP アドレスを確認したら、【ファイルを共有する】（次ページ）へお進みください。

ファイルを共有する

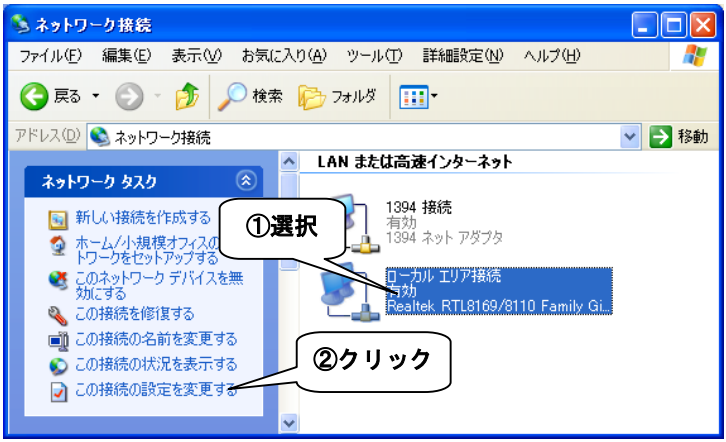
ネットワーク接続（ローカルエリア接続）の設定を変更します。

①[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

②[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]をクリックします。

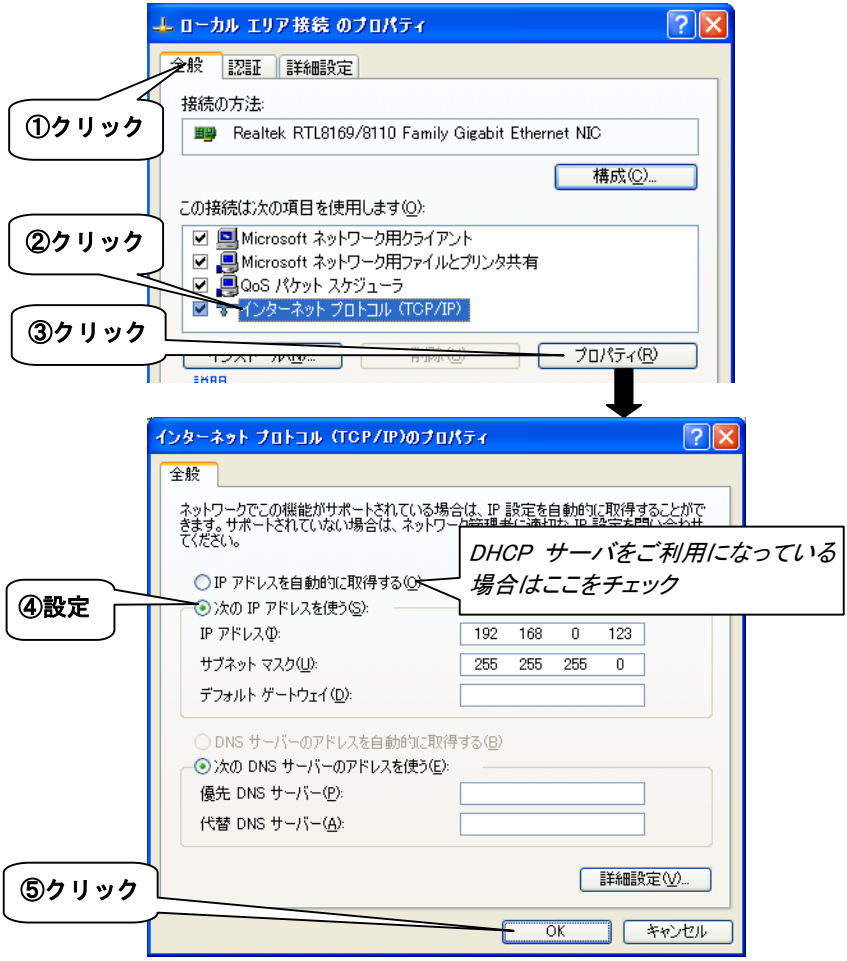


③[ネットワーク接続]では、インストール済みの[ローカルエリア接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。

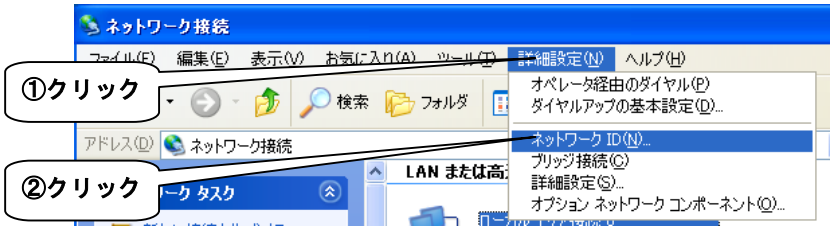


2 IPアドレスを設定します。

①［全般］タブをクリックします。
②［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。
③［プロパティ］ボタンをクリックします。
④【IPアドレスを確認する】（37ページ）で確認したIPアドレスを入力します。
※DHCPサーバをご利用になっている場合は、[IPアドレスを自動的に取得する]をチェックしてください。(IPアドレスの入力は必要ありません。)
⑤設定後、［OK］ボタンをクリックします。
⑥［ローカルエリア接続のプロパティ］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。



3 [ネットワーク接続]画面で[詳細設定]メニューの[ネットワークID]をクリックします。



4 以下のことを確認して[OK]ボタンをクリックします。

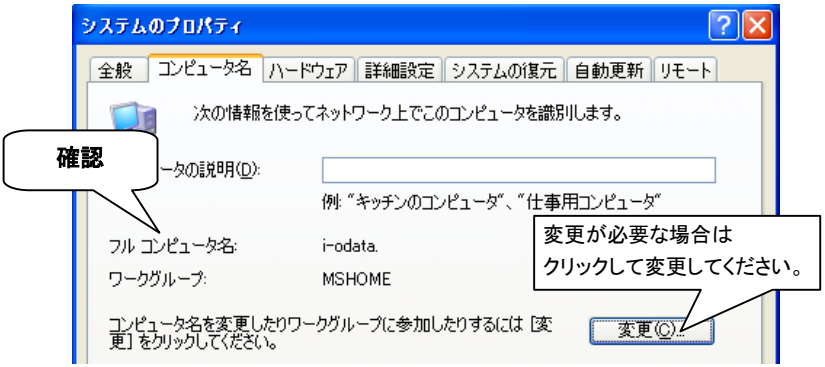
[フル コンピュータ名]

[ワークグループ]

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[変更]ボタンをクリックして、変更してください。

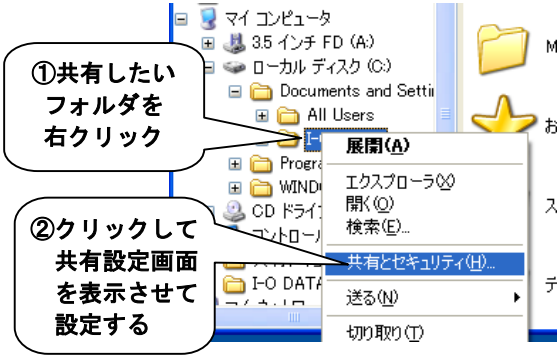


5 共有の設定をします。

このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をする必要があります。

詳細はWindowsのヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



6 他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等を確認します。

［マイネットワーク］→［近くのコンピュータ］を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。

以上で、設定は完了です。

MEMO

Windows 2000 でお使いの場合

使えるようにしよう

本製品を使えるようにします。
44 ページ

▼

USB 機器を接続しよう

本製品に USB 機器を接続します。
57 ページ

▼

1394 機器を接続しよう

本製品に 1394 機器を接続します。
59 ページ

▼

ネットワークに接続しよう

ネットワークに接続します。
61 ページ

使えるようにしよう

本製品を使えるようにする設定について説明します。
ご利用の環境により、以下の必要な個所をご覧ください。

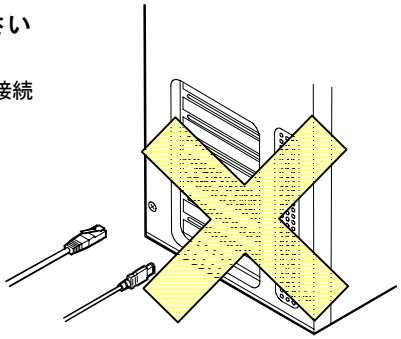
手順	
Windows 2000 Service Pack 4の場合 *※Windows 2000 Service Pack 4のインストール手順については9ページを参照してください。*	**次ページ**
Windows 2000 Service Pack 4でない場合	**48ページ**

本製品を取り付けてください

取り付けていない場合は、【パソコンに取り付ける】(12ページ)をご覧ください。

ケーブルを接続しないでください

本手順が終わるまで、本製品にUSB、1394およびLANケーブルは接続しないでください。



本製品のインストール作業（次ページ以降）が終了するまでは本製品（本製品でのLAN、USB、1394）は使用できません。
本製品を使ってWindows 2000 Service Pack 4をダウンロードしたい場合は、48ページ以降のインストール作業が終了した後にダウンロードしてください。

Windows 2000 Service Pack 4の場合

Windows 2000 Service Pack 4でお使いの場合は、以下の手順を行います。

注意

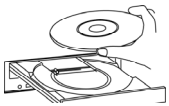
以下の手順は、「Windows 2000 Service Pack 4」をインストールしている場合（9ページ参照）の手順です。
インストールしていない場合は48ページの手順を行ってください。

1 **パソコンの電源を入れ、Windows 2000を起動します。**
Administrator権限でログオンしてください。

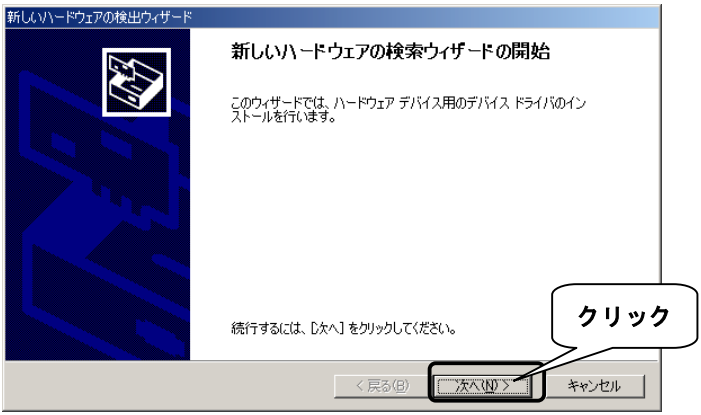
2 **しばらくすると、以下のような画面が表示されます。消えるまでお待ちください。**



3 **以下の画面が表示されます。「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**


「サポートソフト」CD-ROM

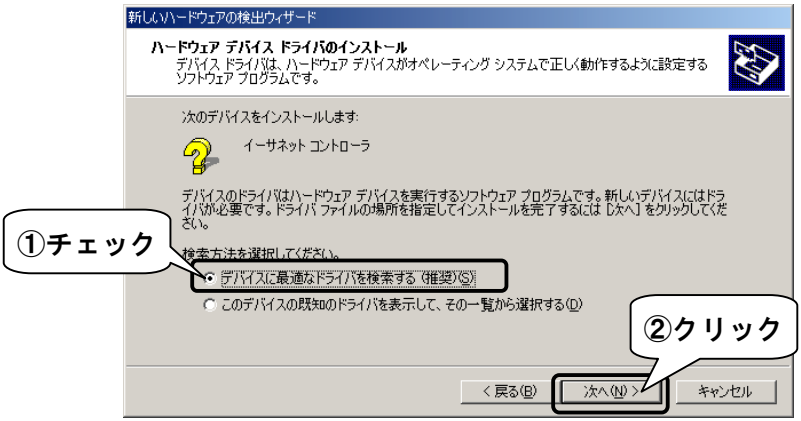
挿入後、［次へ］ボタンをクリックします。



参照

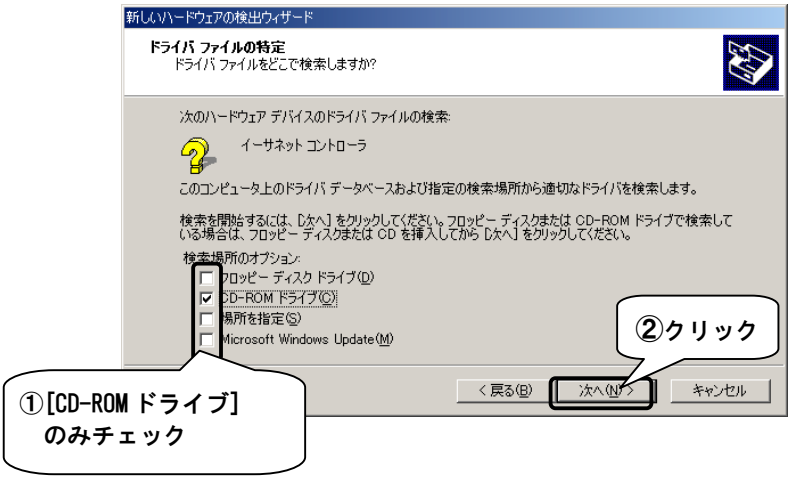
このインストール画面が表示されない場合は
⇒72ページをご覧ください。

4 ［デバイスに最適なドライバを検索する］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

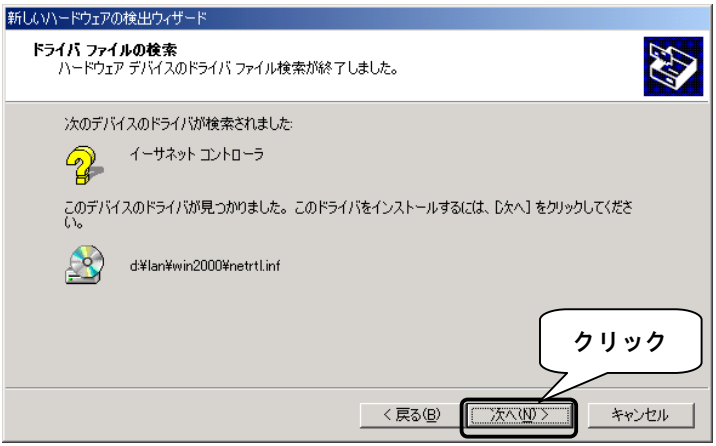


5 ［CD-ROMドライブ］のみから検索します。

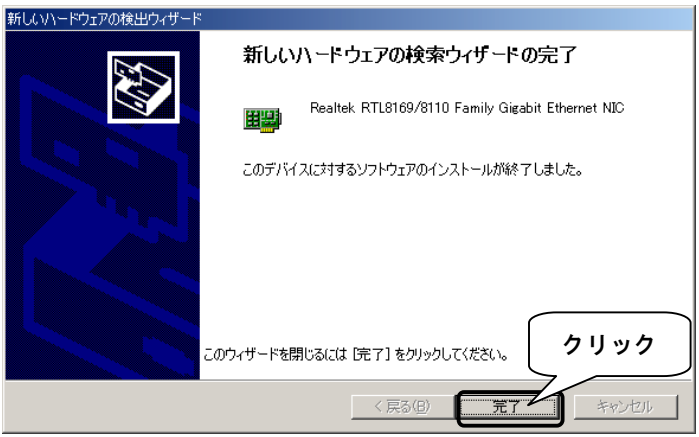
［CD-ROMドライブ］のみにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 ［完了］ボタンをクリックします。



8 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

以上でインストールは完了しました。
54 ページで正常にインストールされたことをご確認ください。

Windows 2000 Service Pack 4 でない場合

本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

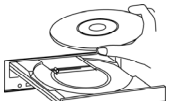
●本製品を使えるようにする

1 **パソコンの電源を入れ、Windows 2000を起動します。**
Administrator権限でログオンしてください。

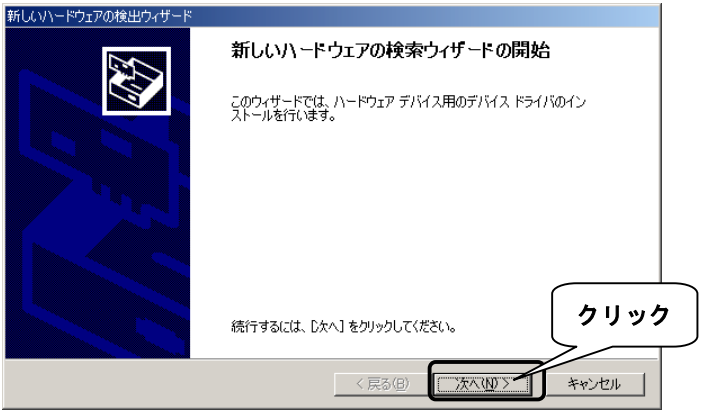
2 **しばらくすると、以下のような画面がいくつか表示されます。消えるまでお待ちください。**



3 **以下の画面が表示されます。「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**


「サポートソフト」CD-ROM

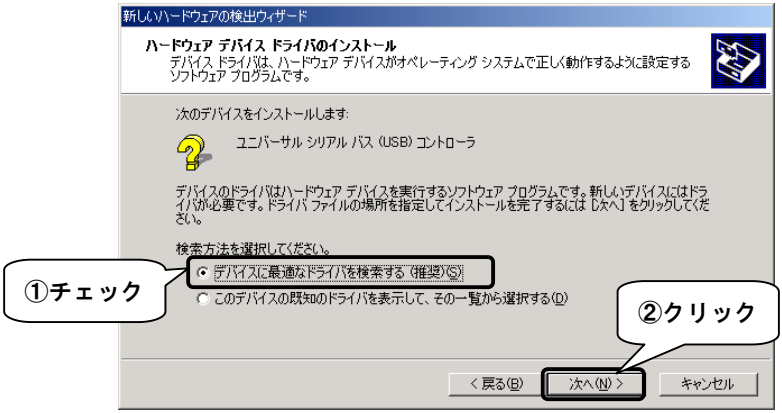
挿入後、［次へ］ボタンをクリックします。



参照

このインストール画面が表示されない場合は
⇒72ページをご覧ください。

4 ［デバイスに最適な･･･］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。



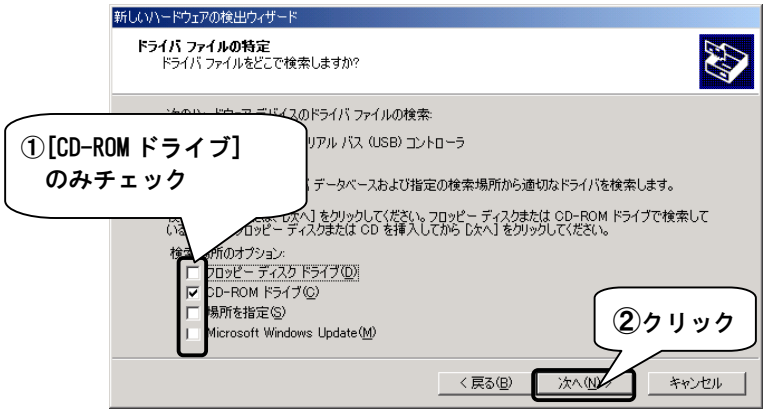
5 ［CD-ROMドライブ］のみから検索します。

［CD-ROMドライブ］のみにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

参考

サポートソフトウェアをお使いのパソコンにダウンロードした場合は

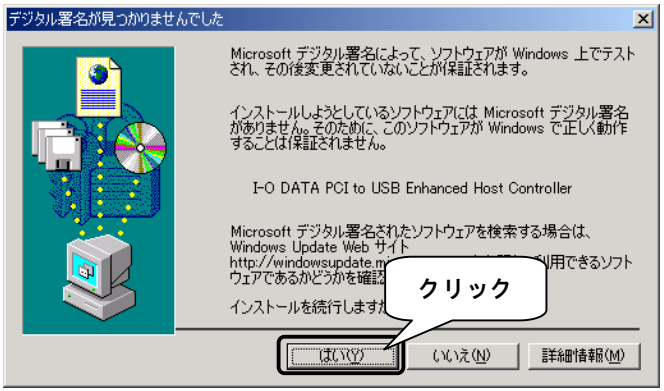
①[場所を指定]のみにチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
②表示された画面で、[参照]ボタンをクリックします。
③[ファイルの場所]画面で、ダウンロードした場所を指定してください。
④再び②の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 ［はい］ボタンをクリックします。

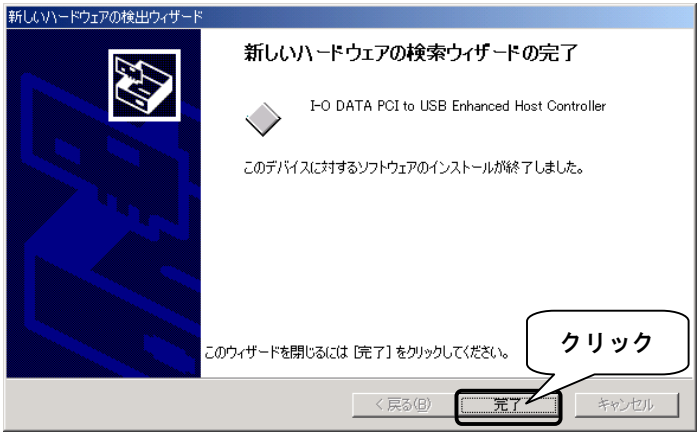


参考

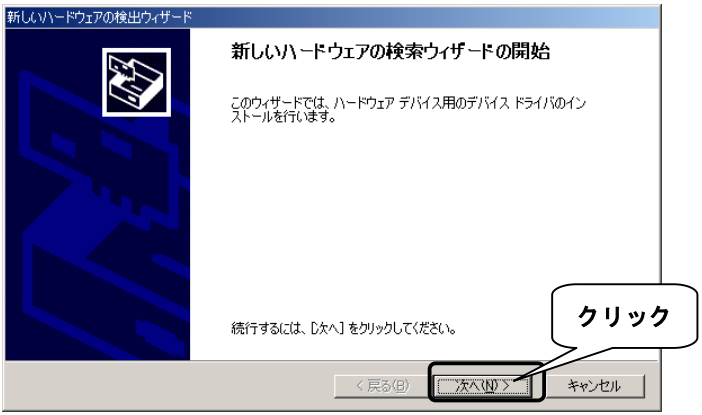
弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

→マイクロソフト社は、WHQLという組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

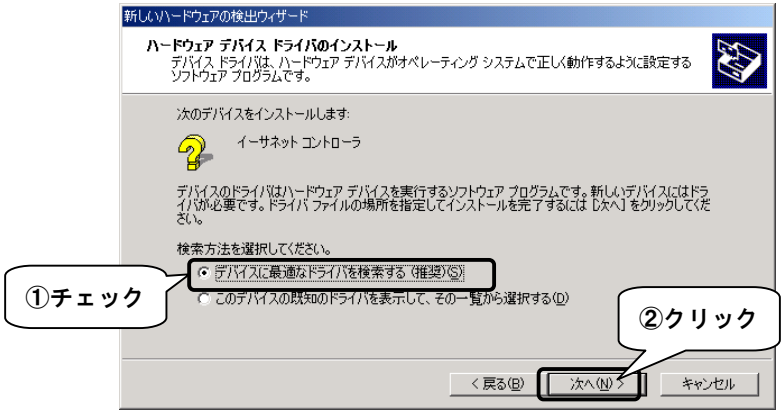
8 ［完了］ボタンをクリックします。



9 以下の画面が表示されます。
［次へ］ボタンをクリックします。



10 ［デバイスに最適な･･･］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。



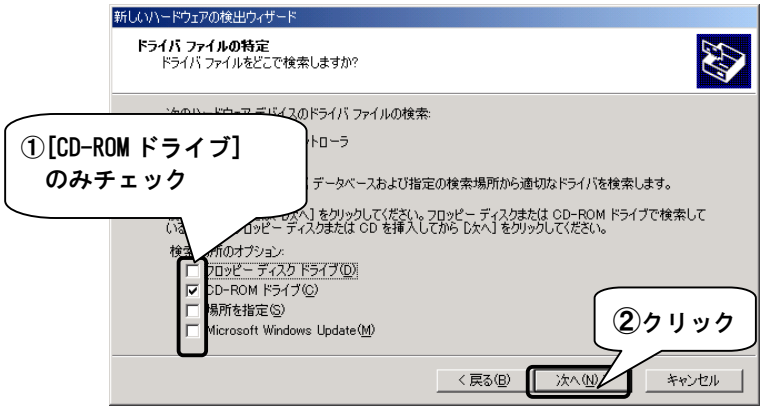
11 ［CD-ROMドライブ］のみから検索します。

［CD-ROMドライブ］のみにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

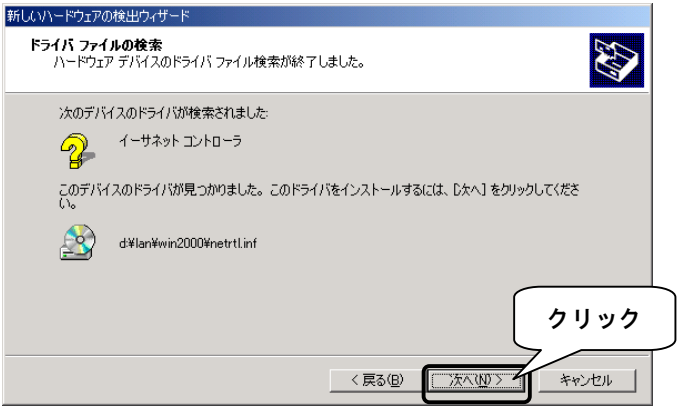
参考

サポートソフトウェアをお使いのパソコンにダウンロードした場合は

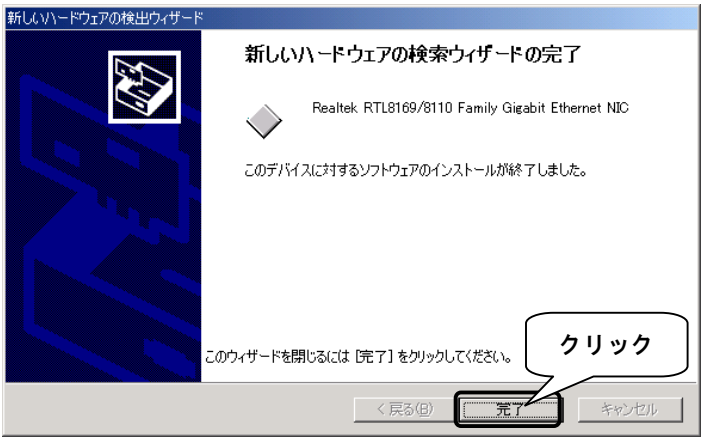
①[場所を指定]のみにチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
②表示された画面で、[参照]ボタンをクリックします。
③[ファイルの場所]画面で、ダウンロードした場所を指定してください。
④再び②の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



12 ［次へ］ボタンをクリックします。



13 ［完了］ボタンをクリックします。

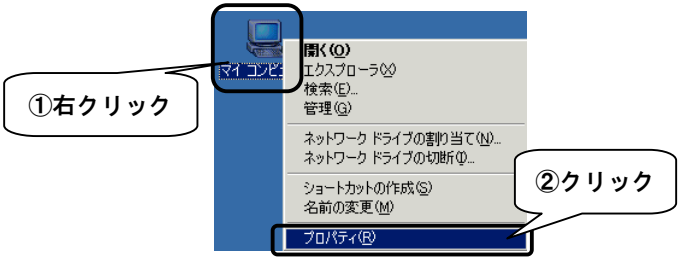


14 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

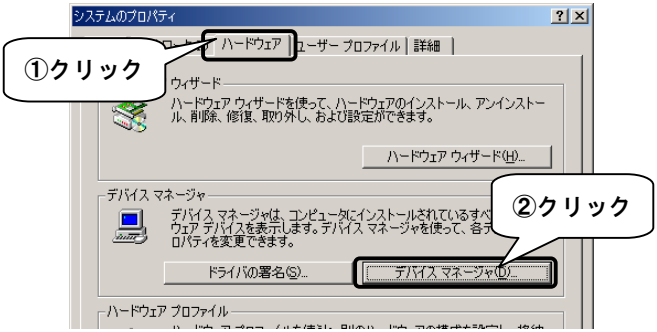
以上でインストールは終了です。
次ページ【確認する】で、インストールが正常に行われたことを確認します。

●確認する

1 ［マイコンピュータ］アイコンを右クリックして、表示された［プロパティ］をクリックします。

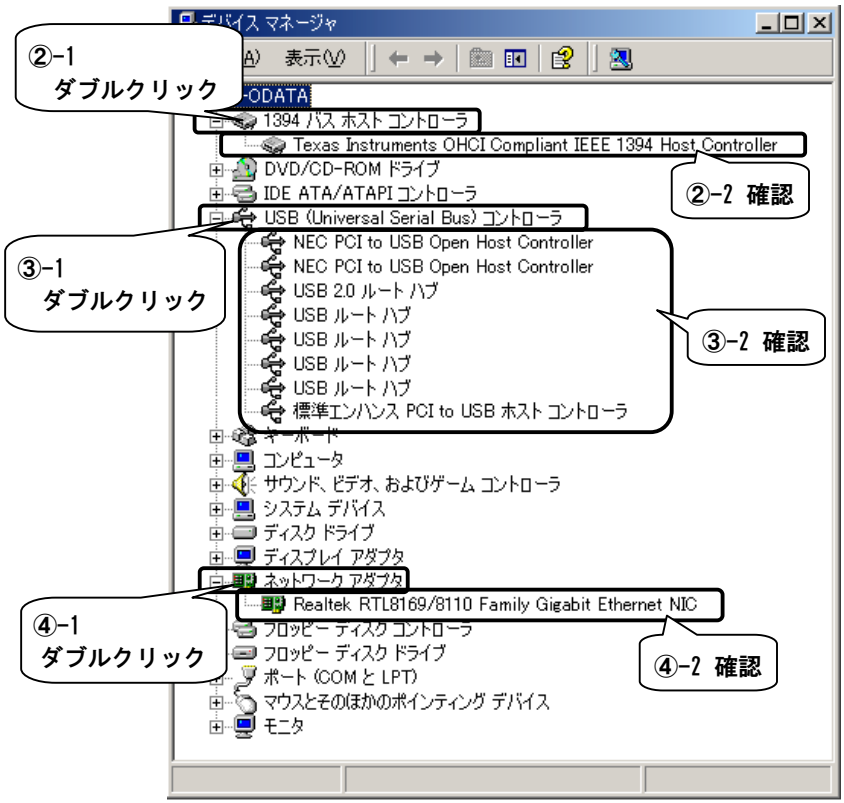


2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



3 本製品が認識されていることを確認します。

① [表示] をクリックし、[デバイス（種類別)] を選択します。
② [1394 バス ホスト コントローラ] をダブルクリックして、
以下を確認します。
・[Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]
③ [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をダブルクリックして、
以下を確認します。
・[NEC PCI to USB Open Host Controller] が２つ
・[標準エンハンス PCI to USB ホストコントローラ)] ※
※弊社製ドライバを使用した場合は [I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller])
④ [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックして、 以下を確認します。
・[Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC]



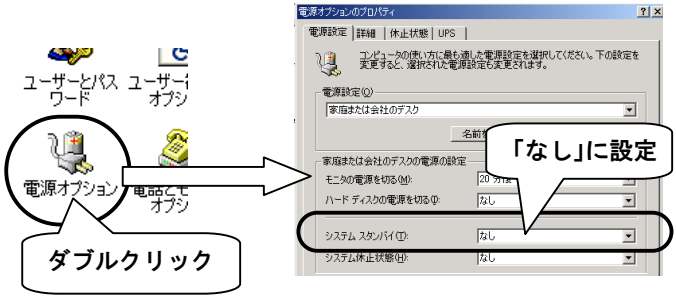
以上で、本製品を使えるように設定できました。

●機器を接続する前に

本製品は、Windows 2000のACPI機能には対応しておりません。
従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックします。
2. ［電源オプション］をダブルクリックし、［電源設定］タブの［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。
（［システムスタンバイ］の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定の必要はありません。）



・［スタート］→［シャットダウン］→［スタンバイ］は実行しないでください。

参考

ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

USB 機器を接続しよう

ここでは、本製品にUSB機器を接続する方法について説明します。



パケットライティングソフトウェア「B's CLiP」（株式会社ビー・エイチ・エー社製）を使用して以下の作業を行っている間は、本製品にUSB機器の接続および取り外しを行わないでください。

・ディスクからのファイルの読み出し
・ディスクへのファイルの書き込み

●USB 機器を接続する前に

USB 機器を接続する前に、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

●USB 機器を接続する

USB 機器の接続については、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
※USB 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。



USB 機器の内、ストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）を USB 2.0 機器として使用するには、および、USB 2.0 対応のハブを USB 2.0 のハブとして使用するには、Windows 2000 で Microsoft 社製の USB 2.0 対応ドライバソフトを使用する必要があります。（Windows 2000 Service Pack 4 以降に収録されています。）
弊社製ドライバソフトを使用した場合は、USB 1.1 の機器およびハブとして動作し、また、ハブに接続した USB 機器も USB 1.1 機器として動作します。

●USB 機器を取り外す

USB 機器の取り外しについては、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
※次ページ「参考」は取り外し方法の一例です。

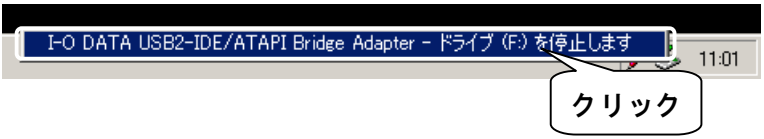
参考

パソコンの電源を入れたまま本製品に接続された USB 機器を取り外す場合

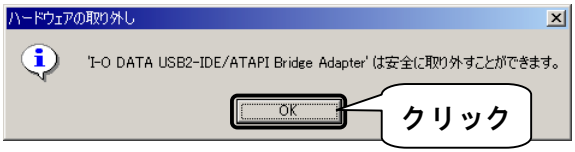
①Windows画面右下のリムーバブルツール  をクリックします。



②表示された「…ドライブ(x:)を停止します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続したUSB機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続したUSB機器により異なります。



④本製品の USB ポートから取り外します。
⑤USB 機器の電源を切ります。

1394 機器を接続しよう

ここでは、本製品に1394機器を接続する方法について説明します。

●1394 機器を接続する前に

1394 機器を接続する前に、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

●1394 機器を接続する

1394 機器の接続については、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※1394 機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

●1394 機器を取り外す

1394 機器の取り外しについては、1394 機器の取扱説明書をご覧ください。
※次ページの「参考」は取り外し方法の一例です。



- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
- DV 機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- DV 機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- DV 機器を含む複数の 1394 機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。



DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

参考

<u>パソコンの電源を入れたまま</u>本製品に接続された 1394 機器を取り外す場合

①Windows画面右下のリムーバブルツール  をクリックします。



②表示された画面内の「…を停止します」をクリックします。
⇒「…」の部分は、接続した1394機器により異なります。



③[OK]ボタンをクリックします。
⇒表示される製品名は、接続した1394機器により異なります。

④本製品の 1394 ポートから取り外します。

⑤1394 機器の電源を切ります。

ネットワークに接続しよう

本製品にLANケーブルを接続してネットワークに接続できます。

1 LANケーブルで、本製品の［LANポート］とルータやハブなどのネットワーク機器を接続します。

LANケーブルは、以下のケーブルをお使いください。

・*1000BASE-Tでご利用になる場合*

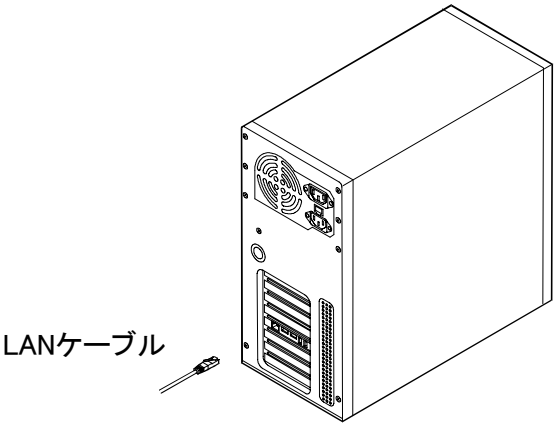
→ 非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５e以上のケーブル

・*100BASE-TXでご利用になる場合*

→ 非シールドツイストペアケーブルカテゴリー５以上のケーブル

・*10BASE-Tでご利用になる場合*

→ カテゴリー３，４または５のケーブル



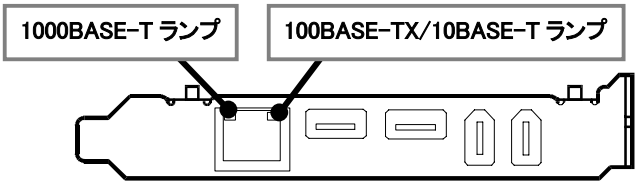
注意

本製品と **ISDN 機器（S/T 点）**を LAN ケーブル（RJ-45）で接続しないでください。
故障や発火の原因となります。

2 接続したネットワーク機器で接続状態を確認します。

本製品の［LINK］［Action］ランプ、また、接続したネットワーク機器の［LNK］ランプなどで正常に接続されていることをご確認ください。
（詳細はネットワーク機器の取扱説明書を参照してください。）

《本製品のランプ》



ランプ	色	状態
1000BASE-T	オレンジ	点灯:1000BASE-T ネットワークに接続時 点滅:1000BASE-T ネットワークでデータ送受信時
100BASE-TX	赤	点灯:100BASE-TX ネットワークに接続時 点滅:100BASE-TX ネットワークでデータ送受信時
10BASE-T	緑	点灯:10BASE-T ネットワークに接続時 点滅:10BASE-T ネットワークでデータ送受信時

ネットワーク活用例（ファイル共有の設定例）

ここでは、ネットワークの活用例として、ネットワーク内で互いのパソコンのファイルを共有するときの設定例を説明します。

注意

設定するプロトコルについて
本書では、設定するプロトコルとして［TCP/IP］についてのみ説明しています。他のプロトコルについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

サポートについて
弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

IP アドレスを確認する

ネットワーク上のすべてのパソコンには別々の IP アドレスが必要です。
ここでは、お使いのパソコンに設定する IP アドレスを確認します。

●確認した IP アドレスを記入してください

参考

ネットワーク管理者にIPアドレスをご確認ください。
確認したIPアドレスを下に書き込んでください。

▼確認した(決めた)IPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

参考

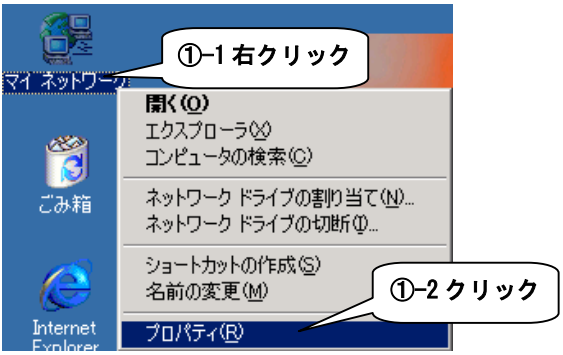
ネットワーク内にDHCPサーバがある場合
弊社製NP-BBRSなどをDHCPサーバとしてご利用になっている場合は、各パソコンでIPアドレスを自動取得でご利用いただけます。
その場合は上記のIPアドレスを記入する必要はありません。次ページ以降の手順でIPアドレスを自動取得に設定してください。

IP アドレスを確認したら、【ファイルを共有する】（次ページ）へお進みください。

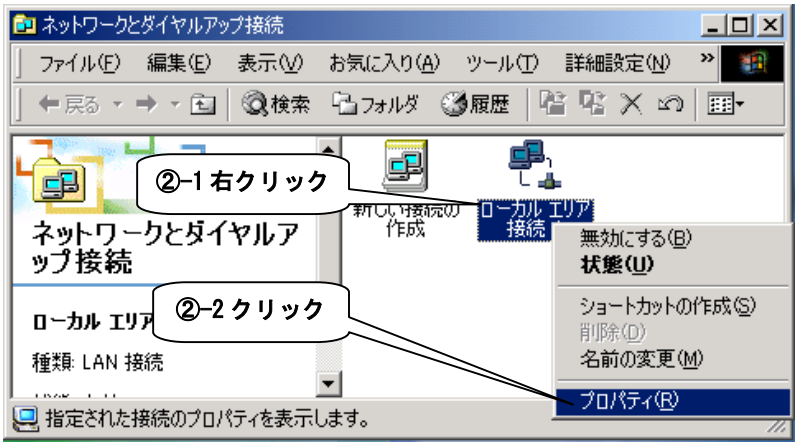
ファイルを共有する

ネットワーク接続（ローカルエリア接続）の設定を変更します。

①[マイ ネットワーク]（右クリック）→[プロパティ]をクリックします。

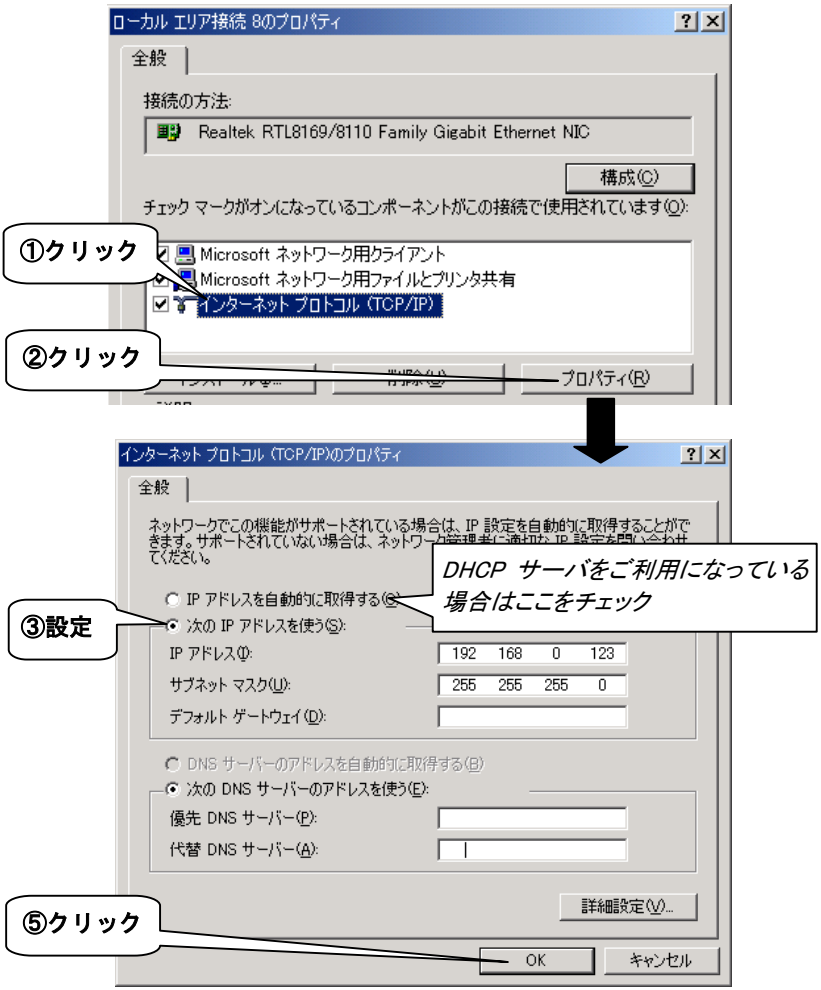


②[ローカルエリア接続]（右クリック）→[プロパティ]をクリックします。

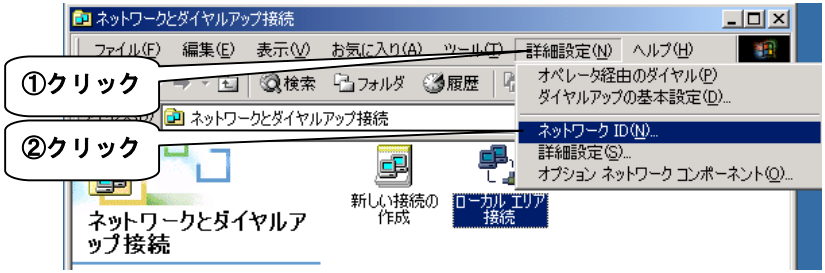


2 IPアドレスを設定します。

①［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。
②［プロパティ］ボタンをクリックします。
③【IPアドレスを確認する】（63ページ）で確認したIPアドレスを入力します。
※DHCPサーバをご利用になっている場合は、[IPアドレスを自動的に取得する]をチェックしてください。（IPアドレスの入力は必要ありません。）
④設定後、［OK］ボタンをクリックします。
⑤［ローカルエリア接続のプロパティ］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。



3 [ネットワークとダイヤルアップ接続]画面で[詳細設定]メニューの[ネットワークID]をクリックします。



4 以下のことを確認し。[OK]ボタンをクリックします。

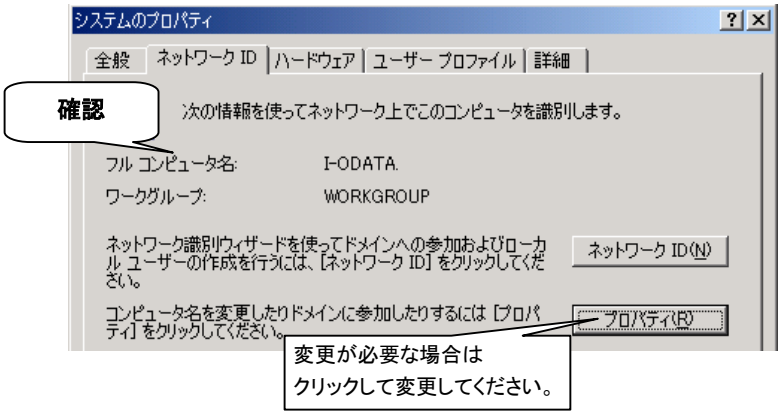
[フル コンピュータ名]

[ワークグループ]

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

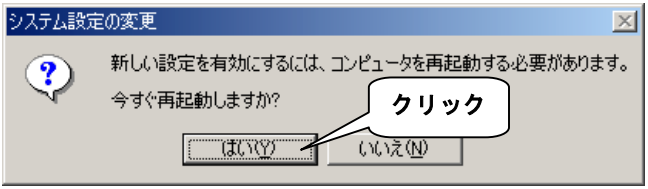
変更が必要な場合は、[プロパティ]ボタンをクリックして、変更してください。



参考

再起動画面が表示される場合があります。

再起動画面が表示された場合は［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

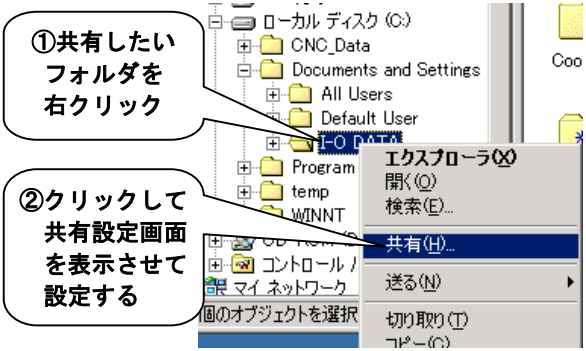


5 共有の設定をします。

このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をする必要があります。

詳細はWindowsのヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



6 他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等を確認します。

［マイネットワーク］→［近くのコンピュータ］を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。

以上で、設定は完了です。

MEMO

ふろく

困ったときには

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

70 ページ

本製品を使った Service Pack のダウンロード

本製品を使って Service Pack をダウンロードする手順について説明します。

81 ページ

サポートソフトの削除

「1394US2G-PCI サポートソフトウェア」の削除方法について説明します。

89 ページ

USB について

USB について説明します。

91 ページ

1394 機器を２台以上接続する場合

1394 機器を２台以上接続する場合について説明します。

93 ページ

Wake On LAN とは？

Wake On LAN について説明します。

97 ページ

用語解説

本書内の用語を説明します。

98 ページ

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。

101 ページ

困ったときには

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポート Web ページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

●インストール時のトラブル

状態	参照ページ
パソコンが起動しない	72
インストール画面が表示されない	

●USB 機器使用時のトラブル

状態	参照ページ
機器が動かない	73
USB機器の転送速度が遅い	
USB機器の動作が不安定である	
前に使えていたUSB機器が使えなくなった	

●1394 機器使用時のトラブル

状態	参照ページ
[1394 バスホストコントローラ]の表示がない	74
[Texas Instruments OHCI ……]の頭に[！]マークや[×]マークがある	
1394 機器の動作が不安定である	76
接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない	
・ストレージ機器の取り外しの際に、[取り外しができません]と表示される ・ストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない	
アプリケーションが、正常に動作しない	

●ネットワーク使用時のトラブル

状態	参照ページ
本製品が正常に動作しない	77
[デバイスマネージャ]の確認で、[ネットワークアダプタ]が表示されない	78
[デバイスマネージャ]の確認で、[Realtek RTL8169/8110 Family ····]が表示されない	
[デバイスマネージャ]の確認で、[競合するデバイス]欄に競合するデバイスが表示されている	
[デバイスマネージャ]の確認で、[Realtek RTL8169/8110 Family····]の頭に、黄色の！マークがついている	
1G 転送のスピードが遅い	

インストール時のトラブル

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

パソコンが起動しない

原因1 本製品を正しく取り付けていません。

対処 【パソコンに取り付ける】(12ページ)をご覧になり、もう一度取り付けてください。

原因2 他の機器と本製品のリソースが重複しています。

対処 1 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。

対処 2 他の機器と本製品のリソース(IRQやメモリアドレス)が重複している可能性があります。
他の機器のリソースを変更してください。リソースの変更方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

インストール画面が表示されない

原因1 本製品を正しく取り付けていません。

対処 【パソコンに取り付ける】(12ページ)をご覧になり、もう一度取り付けてください。

原因2 リソースが不足しています。

対処 パソコンのリソース(IRQやメモリアドレス)が不足している可能性があります。他の機器を取り外したり、使わないパソコンの機能を無効にして、リソースを確保してください。
リソースの確保方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

原因3 他の機器と本製品のリソースが重複しています。

対処 上記「パソコンが起動しない」の原因2をご覧ください。

原因4 インストールが終了しています。

対処 本製品のインストールが正常に終了すると、次回からはインストール画面は表示されません。

USB 機器使用時のトラブル

機器が動かない

原因1 機器を正しく接続していません。

対処 USB機器の取扱説明書をご覧になり、もう一度接続してください。

原因2 USBハブが電源を供給できていません。

対処 USB ハブに接続している場合、USB 機器が必要としている電源をUSB ハブから供給できない可能性があります。
「USBハブが供給できる電力」と「USB機器がUSBポートから消費する電力」をご確認ください。

USB 機器の転送速度が遅い

原因1 USB 2.0機器ではありません。

対処 弊社製 HDA/USBシリーズなどのUSB 1.1機器は、USB 1.1の転送となります。

原因2 USBハブに接続しています。

対処 弊社製ドライバを使用時、USB 2.0 ハブに接続した USB 2.0 機器は、USB 1.1 機器として動作します。
USB 2.0機器は、本製品のUSBポートに直接接続してください。

USB 機器の動作が不安定である

対処 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。

前に使えていた USB 機器が使えなくなった

原因 前と違うUSBポートに接続しています。

対処 USB 機器によっては、一度使えるようにした USB ポート以外の USB ポートに、改めて同じ USB 機器を接続するともう一度作業が必要になるものがあります。
USB機器はなるべく同じUSBポートに接続してお使いください。

1394 機器使用時のトラブル

[1394 バスホストコントローラ]の表示がない

原因1 単に表示されていないだけの場合があります。

対処 パソコンを再起動して、もう一度確認してみてください。

原因2 本製品がPCIバススロットに正しく取り付けられていない。

対処 1 確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2 本製品を別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

[Texas Instruments OHCI ・・・・]の頭に[!]マークや[×]マークがある

原因 本製品と他のデバイスのリソースが競合もしくは共有(シェアリング)されている場合があります。その場合、正常に動作しない場合がありますので、以下の手順でリソース(主にIRQ)を変更してみてください。

対処 1 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。(取り付けるPCIバススロットを変更することでリソースが変更される場合があります。)

対処 2 使用していない機能やボードがあれば、取り外したり、無効にしてみてお試しください。(詳細はパソコンメーカーにご確認ください。)

対処 3 パソコン本体の BIOS 設定(BIOS セットアップメニューなど)で、本製品のリソース設定を変更してみてください。
(詳細は各パソコン本体の取扱説明書をご参照ください。)

※本製品は、プラグアンドプレイ対応ボードのため、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQなど)を割り振られます。そのため、本製品側でリソースを変更することはできません。

参考(IRQ の変更をするには?)

IRQの変更は、[デバイスマネージャ]上からは行えません。通常パソコン本体のBIOS設定から行います。
BIOSの設定方法は各メーカーにより異なりますが、PCIバススロット毎に任意のIRQを割当てられるタイプや、特定のIRQを予め予約設定にするなどというものがあります。
詳細は各マザーボード/パソコン本体の取扱説明書もご参照ください。

対処 4

以下の手順に従って、競合もしくは共有している製品側のリソースを変更します。
（本製品のリソースは変更できません。）

1. 本製品と競合・共有している製品がないかを確認する

Windows起動後、[デバイスマネージャ]でIRQ一覧画面を表示してください。
[Texas Instruments OHCI……]と競合または共有している製品とそのリソースを確認します。
あれば以下の手順で競合もしくは共有している製品側のリソースを変更してみてください。

2. 競合・共有している製品側のリソースを変更する

①.[デバイスマネージャ]画面で競合している製品を探し、ダブルクリックします。

②.[リソース]タブをクリックします。

③.[自動設定を使う]（または[自動設定]）のチェックを外し、競合および共有しているリソースの種類をダブルクリックし、他の競合していない値に変更します。

> パソコンの環境によってはリソースの変更（主に IRQ）ができない場合、パソコン本体（マザーボード）の BIOS 設定で、PCI および ISA バスの IRQ 割り当てを変更する必要があります。
> 詳細はパソコンメーカーへお問い合わせ頂くか、マザーボードの取扱説明書をご覧ください。（PCI スロットを変更することで、IRQ が変更される場合があります。）

④.[OK]ボタンを数回クリックして各ウィンドウを終了すると、Windowsの終了確認画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックして、Windowsを終了します。（パソコンの電源を切ってください。）

⑤.リソースを変更した製品の設定をWindowsの設定と合わせるため、
必要ならばディップスイッチまたはジャンパスイッチを変更してください。
（詳細は、設定を変更する製品の取扱説明書を参照してください。）

1394 機器の動作が不安定である

対処 本製品を取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。

接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない

原因 正しく接続されていません。

対処 一度パソコンの電源を切ってから、いったんストレージ機器を取り外します。
再度、ストレージ機器の電源を入れ、ケーブルを本製品に接続し直してみてください。

・ストレージ機器の取り外しの際に、[取り外しができません]と表示される
・ストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない

対処 1 使用中のアプリケーションをすべて終了した後に、もう一度取り外し手順を行ってみてください。

対処 2 Windowsを終了した後に、取り外してください。

アプリケーションが、正常に動作しない

対処 以下の【確認する】の個所を参照して、まずは、本製品が正常に認識されているかご確認ください。

・Windows XPの場合 → 28ページ
・Windows 2000の場合 → 54ページ

認識に問題がない場合は、本製品の動作には問題ないと思われますので、ご使用のアプリケーションメーカーにて、サポートを受けてください。

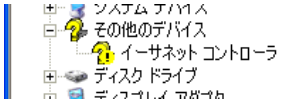
ネットワーク使用時のトラブル

本製品が正常に動作しない

原因1 間違ったドライバが既にインストールされている、または、ドライバが正常にインストールされていない

対処1 以下の①および②をご確認ください。

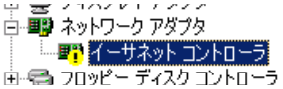
① [デバイスマネージャ]の一覧の[その他のデバイス]の下に[イーサネットコントローラ]がある場合



ある場合は、[イーサネットコントローラ]を右クリックし、表示された[削除]をクリックして削除後、パソコンを再起動してください。
再起動後、自動的にインストールが行われますので、以下の【確認する】の個所を参照して正常にインストールされているかを再度ご確認ください。

- *Windows XP の場合* → 28 ページ参照
- *Windows 2000 の場合* → 54 ページ参照

② [デバイスマネージャ]の一覧の[ネットワークアダプタ]の下に[イーサネットコントローラ]がある場合



ある場合は、[イーサネットコントローラ]を右クリックし、表示された[削除]をクリックして削除後、パソコンを再起動してください。
再起動後、自動的にインストールが行われますので、以下の【確認する】の個所を参照して正常にインストールされているかを再度ご確認ください。

- *Windows XP の場合* → 28 ページ参照
- *Windows 2000の場合* → 54ページ参照

対処2 [デバイスマネージャ]の一覧の[ネットワークアダプタ]の下の[Realtek RTL8169/8110 Family …]の頭に！マークがないかご確認ください。
ある場合は、次ページの対処を参照してください。

[デバイスマネージャ]の確認で、[ネットワークアダプタ]が表示されない

対処 前ページ【本製品が正常に動作しない】の[対処]を参照してください。

[デバイスマネージャ]の確認で、[Realtek RTL8169/8110 Family ‥‥]が表示されない

対処 前ページ【本製品が正常に動作しない】の[対処]を参照してください。

[デバイスマネージャ]の確認で、[競合するデバイス]欄に競合するデバイスが表示されている

対処 前ページ【本製品が正常に動作しない】の[対処]を参照してください。

[デバイスマネージャ]の確認で、[Realtek RTL8169/8110 Family‥‥]の頭に、黄色の！マークがついている

原因 リソースが競合している

対処 次ページ【リソースの変更】の手順を行ってみてください。

1G 転送のスピードが遅い

原因 小さなサイズのファイルを多く転送した

対処 小さいサイズのファイルを多く転送した場合、100Mbpsを下回る場合があります。

原因 1Gに対応していないネットワーク機器に接続している

対処 1000BASE-Tに対応していない（100BASE-TX/10BASE-T）ネットワーク機器（ハブ、ルータなど）に接続している場合、転送速度が遅くなる場合があります。

リソースの変更

リソースの変更 方法 1

本製品と競合している製品のリソースの変更で行う方法

1. [デバイスマネージャ]画面で、Realtek RTL8169/8110 Family …]と競合している製品をを探します。(詳細は、その製品の取扱説明書やメーカーにご確認ください。)
2. [デバイスマネージャ]画面で、競合している製品をダブルクリックします。
3. [リソース]タブをクリックし、[競合するデバイス]欄内に表示されている競合しているリソースを[リソースの種類]([I/Oの範囲],[メモリの範囲][IRQ])から選択し、[自動設定]のチェックを外し、[設定の変更]ボタンをクリックします。
4. 競合デバイスが無い値に変更し、[OK]ボタンをクリックしてすべての画面を閉じ、Windowsを再起動して再度確認してみてください。

ご使用のパソコンによっては、変更できない場合があります。
その場合は、次ページの方法を行ってみてください。

リソースの変更 方法2

パソコン本体に
空きのリソースを作成する方法

1 既存のデバイスの内、使用していないものを無効にしたり、
取り外したりして、必要なリソースの空きを作ってください。
方法については、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

2 空きを作成後、！マークが消えていないか確認してみてください。



参考

《パソコンで使用しているリソースの確認方法》

1.[デバイスマネージャ]画面で[表示]メニューの[リソース(種類別)]を選択します。
2.各リソース([メモリ]、[割り込み要求(IRQ)]、…)をダブルクリックすれば、リソースの空きを確認できます。
(詳しくはパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。)

本製品を使ったService Packのダウンロード

ここでは、本製品を使って最新のService Packをダウンロードする手順について説明します。

注意

・本製品のインストール作業（17ページ以降）が終了していないと本製品（本製品でのLAN、USB、1394）を使ってダウンロードはできません。
本製品を使って最新のService Packをダウンロードしたい場合は、18、44ページ以降のインストール作業を終了しておいてください。
・インターネットに接続できる必要があります

1 インターネットから最新のService Packをダウンロードします。

マイクロソフト社の「Windows Update」からダウンロードします。

URL　http://windowsupdate.microsoft.com/

画面の指示に従ってインストールしてください。

2 ダウンロード後、USBドライバを更新します。以下の個所へお進みください。

手順	
Windows XP の場合	次ページ
Windows 2000 の場合	84 ページ

参考

USBドライバのみ更新します

本製品のインストール時に、USB、1394、LAN用のドライバソフトをインストールしていますが、1394およびLANのドライバソフトは更新する必要はありません。
次ページ以降では、弊社製USB 2.0ドライバをMicrosoft社製のUSB 2.0対応ドライバソフトに更新します。

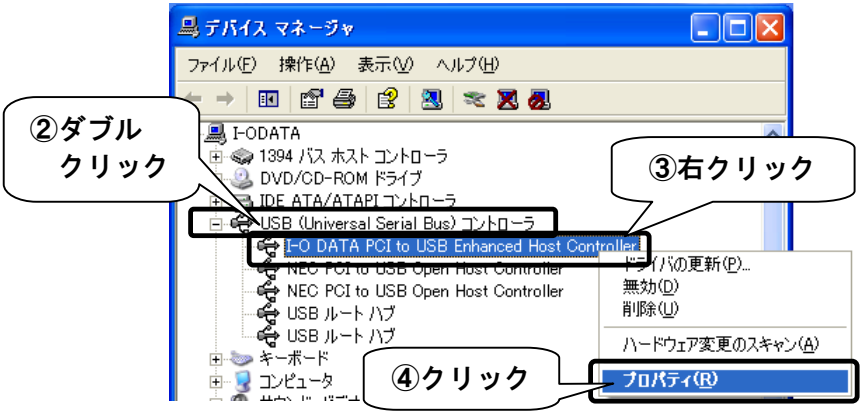
Windows XP での USB ドライバの更新

1 ［デバイスマネージャ］画面を開きます。

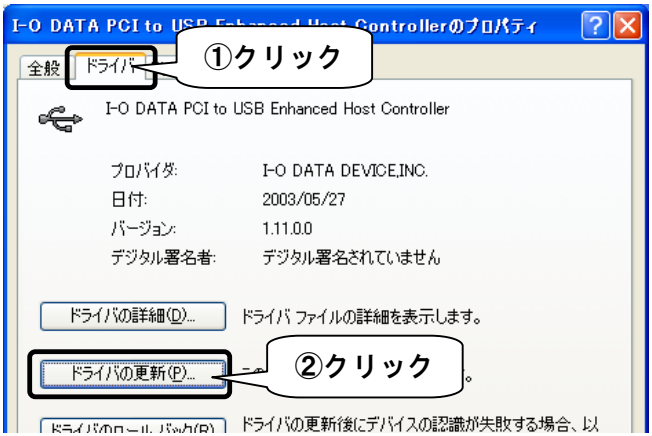
画面の開き方については、28 ページの *1*、*2*の手順を参照してください。

2 ［I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller］の［プロパティ］画面を開きます。

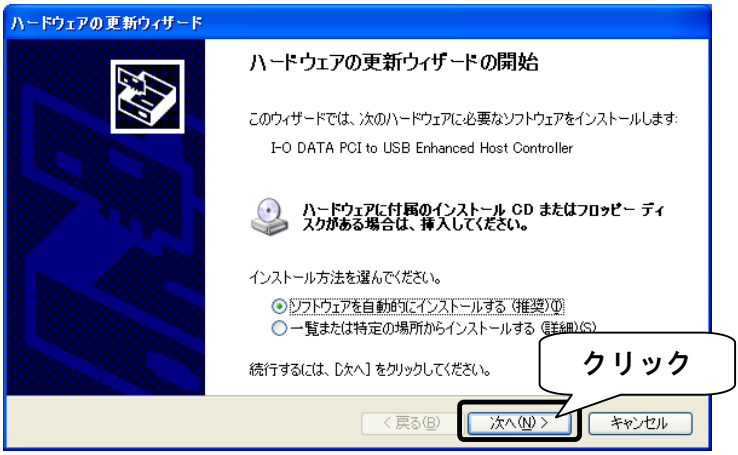
①［表示］をクリックし、［デバイス（種類別）］を選択します。
②［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。
③［I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



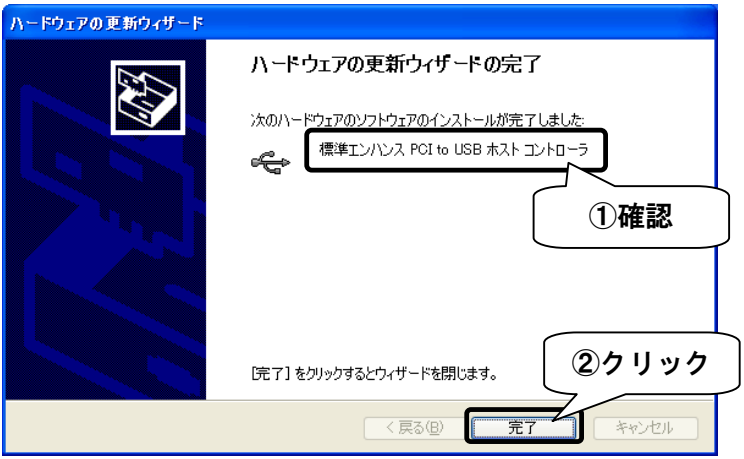
3 ［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックします。



4 ［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［標準エンハンスPCI to USBホストコントローラ］と表示されていることを確認後、［完了］ボタンをクリックします。



以上で、Windows XPでのUSBドライバの更新は終了です。

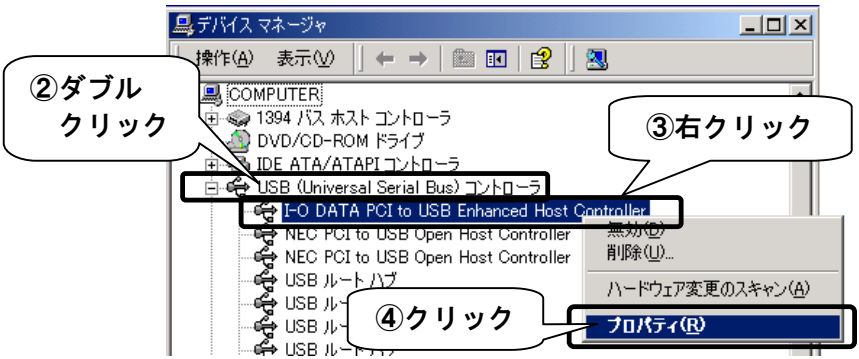
Windows 2000 での USB ドライバの更新

1 ［デバイスマネージャ］画面を開きます。

画面の開き方については、54 ページの *1*、*2*の手順を参照してください。

2 ［I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller］の［プロパティ］画面を開きます。

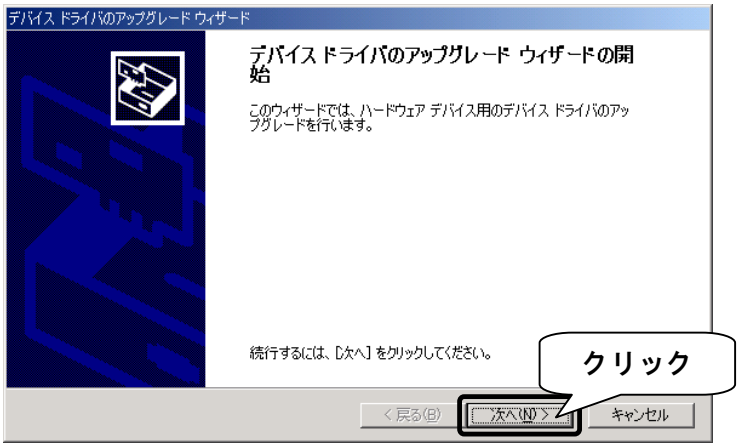
①［表示］をクリックし、［デバイス（種類別）］を選択します。
②［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。
③［I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



3 ［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックします。



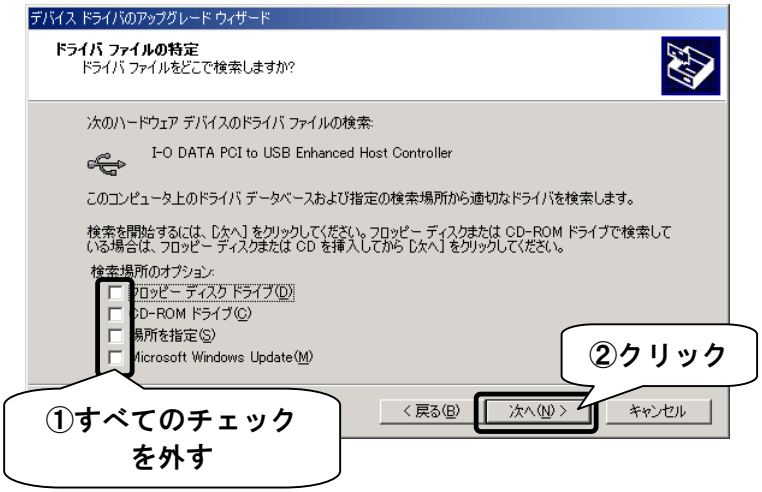
4 ［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［次へ］ボタンをクリックします。



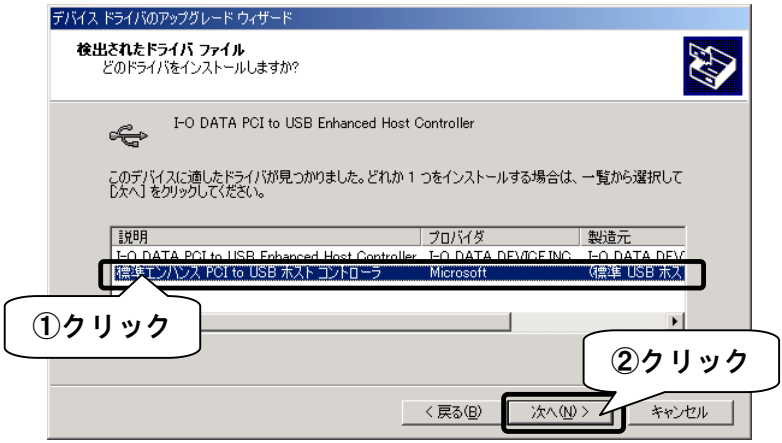
6 **［検索場所のオプション］のすべてのチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。**



7 **［別のドライバを１つインストールする］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。**



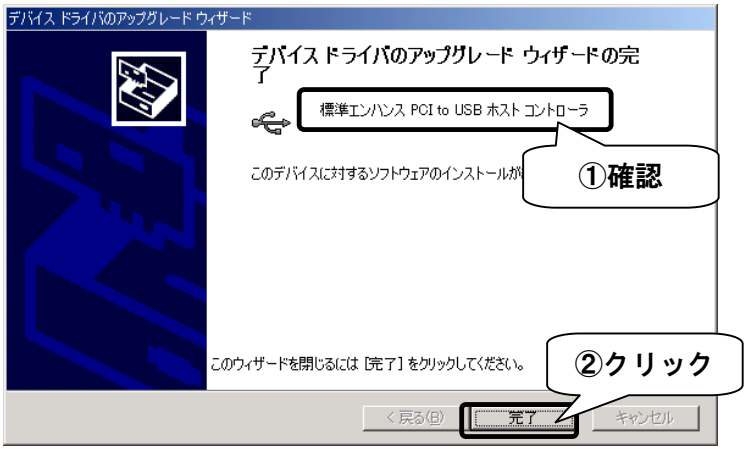
8 **［標準エンハンスPCI to USBホストコントローラ］をクリック後、［次へ］ボタンをクリックします。**



9 **［はい］ボタンをクリックします。**



10 **［標準エンハンスPCI to USBホストコントローラ］と表示されていることを確認後、［完了］ボタンをクリックします。**



以上で、Windows 2000でのUSBドライバの更新は終了です。

サポートソフトの削除

「サポートソフト」の削除方法について説明します。

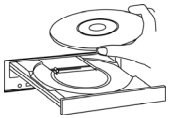
※この手順は、Windows XP/2000 共通です。
（画面は Windows XP のものです。）

1 本製品に接続されている全ての機器※やLANケーブルを取り外します。

※USBマウス、USBキーボードを除く

⇒取り外す方法は、USB 機器の場合は、各 OS の【USB 機器を接続しよう】の「●USB 機器を取り外す」をご参照ください。
1394 機器の場合は、各 OS の【1394 機器を接続しよう】の「●1394 機器を取り外す」をご参照ください。

2 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。



「サポートソフト」CD-ROM

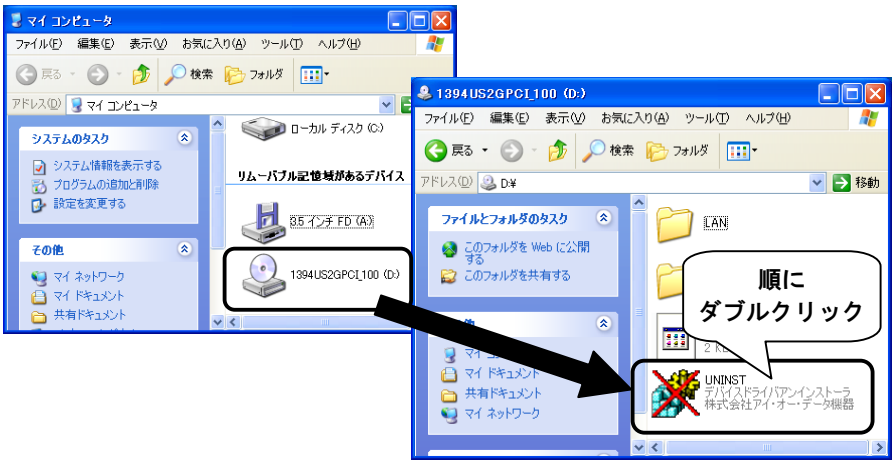
3 [Uninst]（または[Uninst.exe]）アイコン 

を起動します。

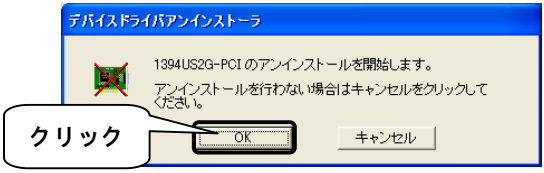
[マイコンピュータ] ※1 → [CD-ROM ドライブ]（[1394US2GPCI_xxx] ※2 アイコン）→ [UNINST]（または[UNINST.EXE]）を順にダブルクリックします。

※1 Windows XP の場合、[スタート]→[マイコンピュータ]

※2 xxx にはサポートソフトのバージョンが表示されます。



4 **［OK］ボタンをクリックします。**



5 **［OK］ボタンをクリックします。**



以上で、「サポートソフト」は削除されました。

USB について

USB について説明をします。

●USB [Universal Serial Bus] とは？

USB は、キーボードやマウスなどさまざまな周辺機器を接続するために利用されています。USB では、電源を切らずに USB 機器の抜き差し（ホットプラグ）ができます。
USB には、バージョン 1.1（1.0）とバージョン 2.0 があります。
1.1 は、Low, Full Speed に対応し、2.0 は Low, Full, High Speed に対応しています。
転送方式については以下をご覧ください。

●転送方式

本製品は、下表の転送方式に対応しています。
転送方式は接続する USB 機器によって異なります。

転送方式	スピード※1			主な用途
	High	Full	Low	
アイソクロナス	○※2	○	―	ビデオカメラやスピーカー
インタラプト	○※2	○	○	キーボードやマウス
バルク	○	○	―	プリンタやスキャナ
コントロール	○	○	○	デバイス制御用

※1 [High]スピードが利用できるのは、USB 2.0 のみです。
USB 1.1 では、[Full]および[Low]スピードのみ可能です。(USB 2.0 では、[High] [Full]および[Low]のすべてのスピードが可能)
※2 弊社製 USB 2.0 ドライバを使用する場合は、未対応となります。

最大スピード
High Speed = 480Mbps　Full Speed = 12Mbps　Low Speed = 1.5Mbps

転送方式の詳細
アイソクロナス転送：マルチメディア用に一定の帯域を保証する転送方式
インタラプト転送：定期的にUSB機器に問い合わせをする転送方式
バルク転送：不定期に行なわれる一般的なデータ転送を想定した転送方式
コントロール転送：USB機器の環境設定を行う転送方式

●電源による USB 機器の分類

USB 機器は、使用する電源により下表のように分類されます。

USB機器の分類		電源	消費電流
バスパワードデバイス	ハイパワーデバイス	USBポート	100～500mA
	ローパワーデバイス		100mA以下
セルフパワードデバイス		電源コンセント	ー

●接続

本製品には、最大 127 台までの USB 機器が接続可能です。
ただし、USB ポートの数を超えて USB 機器を接続する場合は、別途「USB ハブ」が必要となります※。(USB ハブも USB 機器の 1 台となります。)
USB 2.0 機器を接続する場合は USB 2.0 ハブ、USB1.1 機器を接続する場合は USB 1.1 ハブを使用します。
末端の USB 機器と本製品の間には最大 5 台までの USB ハブを接続することができます。

※ USB ハブを使用する場合、Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバをお使いください。
弊社製ドライバを使用した場合は、USB 1.1 ハブとして動作します。

参考

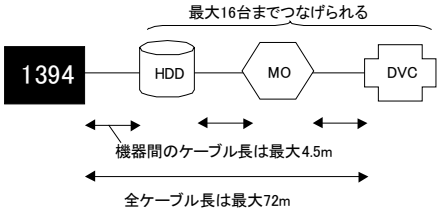
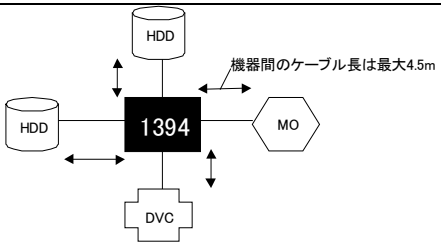
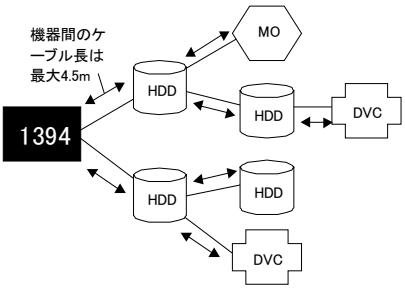
USBハブにUSB機器を接続する場合は・・・
USB機器をUSBハブに接続する際には、下の項目をご確認ください。
・USBハブが供給できる電力
・USB機器がUSBポートから消費する電力

1394 機器を２台以上接続する場合

ここでは、本製品に2台以上の機器をつなぐ場合の接続形態による制限事項等を説明します。

1394機器の接続方法

1394機器の接続方法には、デイジーチェーン接続、スター接続、ツリー接続があります。

接続方法	接続例
デイジーチェーン （機器同士を数珠状に接続する方法）	
スター （1394インターフェイスを中心にスター（星）状に接続する方法）	
ツリー （各機器から枝別れさせて接続する方法）	

1394 ：本製品などの1394インターフェイス

HDD ：ハードディスク

MO ：MOドライブ

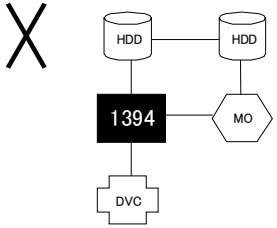
DVC ：DVC（デジタルビデオカメラ）

以下の①および②の様な接続で機器を使用することはできません。

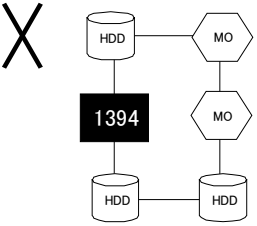
①ループ接続

ループ
（1394インターフェイスおよび機器間をループ状に接続する方法）

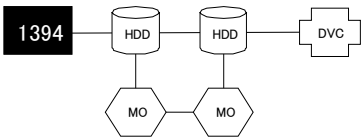
例1)



例2)



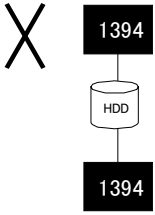
例3)



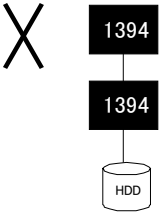
②ドライブ機器を複数のパソコンで共有して使用

下記のような接続の場合、基本的には先にハードディスクを認識したパソコンでしかハードディスクを使用することができない、もしくは両方のパソコンでアクセスができなくなる場合があります。

例1)



例2)



接続可能台数とケーブル使用可能本数

本製品には、最大63台の1394機器を接続できます。
（デイジーチェーン接続のみでは16台まで）

注意

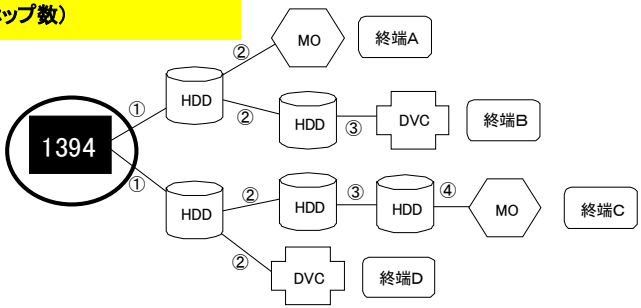
IEEE 1394の仕様としては1394機器を63台接続できますが、Windows側のドライブアサイン（ドライブ番号）の問題等で純粋にハードディスクなどのドライブ機器を63台つなげてもすべてを使用することはできません。

また、1394インターフェイスから終端の機器間で使用できるケーブル数は最大16本（最大16ホップ）です。

ホップとは？

ある単位の1394機器から他の1394機器をながめた時、中間に何台の機器がつなげられているかをカウントする場合に、使用する単位です。
実際には、中間の台数だけでなく、最後の１台もカウントに含めます。

本ボードから見たケーブル数（ホップ数）

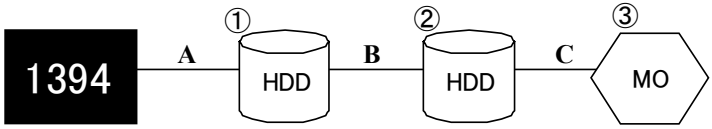


例えば、本ボードから
終端AのMOドライブまでのケーブル数（ホップ数）は2
終端BのDVCまでのケーブル数（ホップ数）は3
だと分かります。

複数の機器を接続中に取り外すには

パソコンに複数のIEEE 1394機器を接続している場合、取り外す際に注意が必要です。

下の図のように連続したIEEE 1394機器がある場合は、取り外す機器より後ろのIEEE 1394機器をすべて「停止」（取り外す前の作業）を行ってから、取り外してください。（詳細は、各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。）



例えば、①の機器のみを取り外す場合は、

1. **②と③を「停止」します。**
2. **①を「停止」します。**
3. **Aを取り外します。**
4. **BをIEEE 1394ポートに接続します。**

③を取り外す場合は、

1. **③を「停止」します。**
2. **Cを取り外します。**

Wake On LAN とは？

ネットワークでつながれたパソコンから Wake On LAN 対応の LAN アダプタを搭載したパソコンを起動する機能です。
Magic Packet と呼ばれるパケットを、本製品を取り付けたパソコンで受信することにより起動します。
パソコンが Wake On LAN に対応している必要があります。



Wake On LAN(WOL)機能を使うには、パソコンのBIOSを設定する必要があります。
BIOSの設定についてはパソコンの取扱説明書を参照してください。
なお、Wake On LAN(WOL)についてはサポート対象外となります。

用語解説

本書内の用語を説明します。

1000BASE-T（センベースティー）

1Gbps イーサーネット接続で使用する Ethernet の IEEE 規格の1つで、非シールドまたはシールドのツイストペアケーブルを使用します。

100BASE-TX（ヒャクベースティーエックス）

IEEE 802.3u 規格として制定されています。
100Mbps イーサーネット接続で使用する Ethernet の IEEE 規格の1つで、非シールドまたはシールドのツイストペアケーブルを使用します。

10BASE-T（テンベースティー）

IEEE 802.3 規格として制定されています。
10Mbps イーサーネット接続で使用する Ethernet の IEEE 規格の1つで、ツイストペアケーブルを使用します。

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)

Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenix が共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。
ACPI は、電力管理を OS 側で一元管理します。ACPI 対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OS で管理することができます。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol Server)

DHCP とは各クライアントや Ethernet 機器へ起動時に動的に IP アドレスを割り当て、終了時に IP アドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントや Ethernet 機器へ通知することもできます。
この動的に IP アドレスの割当を行う側の機器が DHCP サーバと呼ばれています。
ダイアルアップルータ等の機器も DHCP サーバの機能を持っています。

DV方式

HD デジタル VCR 評議会により標準化されたビデオ映像をデジタルデータの形式で圧縮しテープに記録する規格です。SD 仕様と高品位規格の HD 仕様があり、本製品では SD 仕様に対応しています。
この DV 規格は規格書の色から通称"Blue Book"と呼ばれることもあります。

DV-SD 仕様の特徴
映像データ形式は YUV=4:1:1(NTSC)または 4:2:0(PAL)で圧縮率 1/5
音声データ形式は 16bit/48KHz(2ch)と 12bit/32KHz(4ch)の2種類

DV端子

主に民生用の DV 機器に使われているデジタル映像の入出力端子で、4pin 形状のコネクタが採用されています。

Ethernet（イーサネット）

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。
当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CD アクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後に IEEE 802.3 として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

Gbps（ギガビーピーエス） （Gigabits per second）

1秒間に伝送するデータの単位。
1Gbps は1秒間に 1 ギガビットのデータを伝送できます。

IEEE 1394（アイトリプルイー）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術として Apple 社で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格です。
その規格番号から一般的に IEEE 1394 と呼ばれます。
SONY がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいます。

i.LINK（アイ リンク）

IEEE 1394-1995 仕様およびその拡張仕様の名称として SONY が提唱している呼称です。

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet 機器ごとの固有の物理アドレスのことです。
MAC アドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードは IEEE が管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet 機器のメーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）

1秒間に伝送するデータの単位です。
100Mbps は1秒間に 100 メガビットのデータを伝送できます。

NetWare

ノベル社のネットワークオペレーティングシステム。（異なったプラットホーム間の通信・データ共有を実現するシステム）
NetWare Core Protocol(NCP)、Internetwork Packet eXchange(IPX)と Sequential Packet eXchange(SPX)のプロトコルを使用します。

NDIS（Network Driver Interface Specification）

マイクロソフト社と3Com社が開発したネットワークインターフェイスカードおよびデバイスドライバに関する仕様。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの1つです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

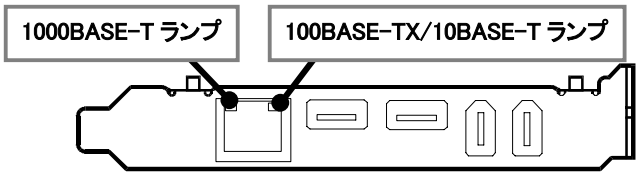
ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。

	1394US2G-PCI
使用する IRQ(割り込み)	PCI システムによる自動設定
メモリアドレス	PCI システムによる自動設定
動作温度	+5℃～+55℃ (パソコンの動作する範囲であること)
動作湿度	20%～80%(結露なきこと)
電源電圧	+5V
消費電流	5V 700mA(Max)　420mA(定格) (1394/USB ポートへの供給電流含まず)
搭載 USB ポート数	3 つ(外部 2+内部 1)
搭載 1394 ポート数	3 つ(外部 2+内部 1)
搭載 LAN ポート数	1つ…1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
USB ポート 1 ポート当たり供給電源※1	500mA(MAX)
1394 ポート 1 ポート当たり供給電源※1	1.5A※2
本体サイズ	145(W)X97(D)mm (スロットカバー/コネクタ部含まず)

※1　お使いのパソコンの電源能力によっては、仕様を満たせない場合があります。
※2　バスパワーでご使用の場合は必ず電源供給ケーブルを接続してください。

《本製品のランプ》



ランプ	色	状態
1000BASE-T	オレンジ	点灯:1000BASE-T ネットワークに接続時 点滅:1000BASE-T ネットワークでデータ送受信時
100BASE-TX	赤	点灯:100BASE-TX ネットワークに接続時 点滅:100BASE-TX ネットワークでデータ送受信時
10BASE-T	緑	点灯:10BASE-T ネットワークに接続時 点滅:10BASE-T ネットワークでデータ送受信時

お問い合わせ

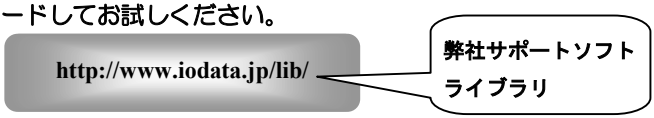
本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困ったときには】（70ページ）で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。



また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポートライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。



2 それでも解決できない場合は…

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話　**1394 および USB のトラブルは**
本社…076-260-3688　東京…03-3254-1095
LAN のトラブルは
本社…076-260-3644　東京…03-3254-1144

FAX　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055

インターネット　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブル内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下記の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号, ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下記の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

弊社は、お客様が以下の【使用許諾条件】および【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

【使用許諾条件】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器と提供者の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
3) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
4) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
5) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません

【ご注意】

1) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
2) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
3) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
4) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●i.LINKならびにi.LINKのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

1394US2G-PCI 取扱説明書
2003.10.30 144811-01
発 行 株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町 3 丁目 10 番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。